paru（[鳥] シジュウガラ）

* + 提案: 山雀
  + 理由: 中国語で「シジュウガラ(英: tit)」に近い名称として「山雀(shānquè)」がよく使われる。日本語でも「シジュウカラ」を「山雀」と表記することがあり、両言語話者が連想しやすい。
  + 学習コスト: 「山」(3画)と「雀」(11画)の2文字だが、「雀」は他の小鳥にも応用可能。

1. kardel（[鳥] ゴシキヒワ）
   * 提案: 金雀
   * 理由: ゴシキヒワは中国語で「金翅雀」などと呼ばれるが、短縮して「金雀」にしておけば「金色の(小)鳥」のイメージが伝わりやすい。
   * 学習コスト: 「金」(8画)と「雀」(11画)。すでに「雀」を再利用。意味を想起しやすく、重複利用で負担削減。
2. kokcinel（[虫] ナナホシテントウ）
   * 提案: 瓢虫
   * 理由: 中国語で「テントウムシ」は「瓢虫」(特に「七星瓢虫」とも)が一般的。日本語話者も「瓢虫」とあれば「テントウムシ系か？」と推測可能。
   * 学習コスト: 「瓢」(8画) + 「虫」(6画)。虫偏を再利用できるため、他の昆虫類と共通要素が多い。
3. silvi（[鳥] シルビア属の小鳥、ウグイスの仲間など）
   * 提案: 莺
   * 理由: 「鶯(うぐいす)」の簡体字が「莺」。日本語の「鶯」に相当し、中国語で「～莺(～鶯)」はさまざまな小型のウグイス科・ヒタキ科を指す。
   * 学習コスト: 単一文字「莺」(草冠+鸟)。鳥絡みであると想像しやすいが、やや画数(9～10画)はある。
4. skarab（[虫] カブト虫, 甲虫一般）
   * 提案: 甲虫
   * 理由: 中国語で一般的な「beetle(甲虫)」の総称が「甲虫」。日本語も「甲虫類」は通じる。
   * 学習コスト: 「甲」(5画) + 「虫」(6画)。「虫」は再利用文字。
5. kantarid（[虫] ハンミョウ, ソルジャービートル 等）
   * 提案: 甲虫
   * 理由: 厳密には「Cantharidae(カンタリス科)」などだが、広義の甲虫として同じく「甲虫」を再利用してしまう。上付きや振り仮名で区別予定。
   * 学習コスト: 「甲虫」を再使用することで学習負担を下げる。
6. burd（[虫] マルハナバチ, Bumblebee）
   * 提案: 蜂
   * 理由: 中国語で「蜂」はミツバチ・ハチ類全般を指しうる。厳密には「大黄蜂」「熊蜂」等あるが、一文字「蜂」の使い回しで対応しやすい。
   * 学習コスト: 「蜂」(13画) はやや多画だが、ハチ系をまとめて表せるので結果として負担軽減。
7. taban（[虫] アブ, horsefly/gadfly）
   * 提案: 马蝇
   * 理由: 「horsefly」を直訳したような形で「马蝇」とすれば、中国語話者には「馬＋蝇＝アブの一種」と分かりやすい。
   * 学習コスト: 「马」(3画) と「蝇」(10画)。どちらも比較的基本的な字で、今後「馬」関連で再利用の可能性がある。
8. lampir（[虫] ホタル, firefly）
   * 提案: 萤虫
   * 理由: 中国語の正式名「萤火虫」より1字減らして「萤虫」。日本語の「蛍」に相当する「萤」を含み、虫と組み合わせて分かりやすい。
   * 学習コスト: 「萤」(11画) + 「虫」再使用。1字増えるが、ホタルを連想しやすい。
9. alg（[植] 藻類）
   * 提案: 藻
   * 理由: 中国語で「藻类」とも言うが、単一字「藻」で藻類全般を連想可能。日本語話者にも意味が通じやすい。
   * 学習コスト: 「藻」(19画)は多めだが、単字で済むので割り切り。
10. spong（海綿, sponge）
    * 提案: 海绵
    * 理由: 中国語の一般的名称。単一字で「スポンジ」を表す字は無いので熟語「海绵」が分かりやすい。
    * 学習コスト: 「海」(10画) + 「绵」(11画)。ともに比較的使用頻度が高い字。
11. akrid（[虫] イナゴ, バッタ, locust/grasshopper）
    * 提案: 蝗
    * 理由: 中国語で「蝗(イナゴ/バッタ/locust)」が基本的。日本語にも「蝗害」の「蝗」があるので連想しやすい。
    * 学習コスト: 「蝗」(10画)。虫偏+皇。
12. formik（[虫] 蟻, ant）
    * 提案: 蚁
    * 理由: 簡体字では「蚂蚁」が一般的だが、「蚁」(単体)でも「蟻」を指せる。日本語話者も虫偏+「義」に近い形で推測可能。
    * 学習コスト: 「蚁」(9画) の1文字だけで済む。
13. cikad（[虫] セミ, cicada）
    * 提案: 蝉
    * 理由: 中国語簡体字の「蝉」は日本語の「蝉(せみ)」と同形(旧字体は「蟬」)。
    * 学習コスト: 「蝉」(10画)。虫偏+単体。
14. termit（[虫] シロアリ, termite）
    * 提案: 白蚁
    * 理由: 中国語で「白蚁」はシロアリ。日本語からも「白い蟻→シロアリ」と連想が容易。
    * 学習コスト: 「白」(5画) + 既出「蚁」(9画)。新出は「白」のみ。
15. libel（[虫] トンボ, dragonfly）
    * 提案: 蜻蜓
    * 理由: 中国語の標準的呼称が「蜻蜓」。日本語の「蜻蛉(せいれい)」にも通じ、両国語で理解しやすい。
    * 学習コスト: 「蜻」(13画) + 「蜓」(10画)。2文字だが標準的。
16. turd（[鳥] ツグミ, thrush）
    * 提案: 鸫
    * 理由: 中国語でツグミ科(Turdus属)は「鸫(dōng)」。日本語話者にはやや馴染み薄だが、鳥偏を含むため「鳥類」とわかる。
    * 学習コスト: 「鸟」偏+「冬」で10画。単一字。
17. krabr（[虫] スズメバチ, hornet）
    * 提案: 蜂
    * 理由: 中国語で「蜂」はミツバチやスズメバチを広く指せる。個別に「大黄蜂」「马蜂」などあるが、学習コスト削減のため単一字を流用。
    * 学習コスト: 既出「蜂」。上付きや振り仮名で区別予定。
18. gril（[虫] コオロギ, cricket）
    * 提案: 蟋蟀
    * 理由: 中国語で「コオロギ」は「蟋蟀(xīshuài)」が標準表記。日本語も同字を「蟋蟀(きりぎりす/こおろぎ)」と読む。
    * 学習コスト: 「蟋」(16画) + 「蟀」(13画) と多画数だが、標準呼称なので理解しやすい。
19. kokon（[虫] 繭, cocoon）
    * 提案: 茧
    * 理由: 中国語で繭は「茧(jiǎn)」。日本語の旧字体「繭」と近く、虫関連と分かりやすい。
    * 学習コスト: 「茧」(9画) の単一字。
20. fung（[植] キノコ, fungus/mushroom）
    * 提案: 菌
    * 理由: 「真菌」「菌類」は中国語・日本語いずれでも「菌」が連想しやすい。キノコ・カビ・酵母など広義の“fungus”に対応。
    * 学習コスト: 「菌」(9画)。汎用性が高い。
21. moskit（[虫] 蚊, mosquito）
    * 提案: 蚊
    * 理由: 中国語で「蚊子」の略形が「蚊」。虫偏+「文」でわかりやすく、日本語でも「蚊」の字形を認識可能。
    * 学習コスト: 「蚊」(10画)。単一字。
22. kul（[虫] 蚊/ブユ/小さな蚊系）
    * 提案: 蚊
    * 理由: 厳密には別種でも、「蚊」一字再利用でまとめられるなら学習コストを減らせる。
    * 学習コスト: 既出「蚊」を使い回し。
23. verm（(ミミズ,イモムシ等)虫, worm）
    * 提案: 虫
    * 理由: いわゆる「ワーム系」を広く「虫」で総括。日本語・中国語いずれも「虫」は生物一般(昆虫/蠕虫)を指せる。
    * 学習コスト: 「虫」(6画)は既出。最小限で済む。
24. larv（[虫] 幼虫, larva）
    * 提案: 幼虫
    * 理由: 中国語で「幼虫(yòuchóng)」。漢字圏の人には「幼い虫→幼虫」と連想しやすい。
    * 学習コスト: 「幼」(5画) + 既出「虫」(6画)で比較的シンプル。
25. raŭp（[虫] 毛虫/イモムシ, caterpillar）
    * 提案: 毛虫
    * 理由: 中国語・日本語ともに「毛虫(máochóng)」。直感的に「毛のある虫→イモムシ/毛虫」とわかる。
    * 学習コスト: 「毛」(4画) + 既出「虫」(6画)。
26. akar（[虫] ダニ, mite）
    * 提案: 螨
    * 理由: 中国語で「ダニ」を指す代表が「螨(mǎn)」。熟語「螨虫」とも言うが、一文字で十分。
    * 学習コスト: 「螨」(虫偏+曼で17画) は多画数だが、他に代表的な簡単字が見当たらず、やむを得ず採用。
27. insekt / 虫 /
    * 選定理由: 「虫」は中国語でも「虫(chóng)」で昆虫全般を指す基本的な字であり、日本語でも「虫」として広く認識される。
    * 学習コスト: 画数が少なく、日中共通で分かりやすい。以後も虫へん(虫偏)を多用することで学習コストを抑えられる。
28. vesp / 蜂 /
    * 選定理由: 中国語では「蜂(fēng)」が「蜂類（ハチ全般）」を含み、スズメバチやミツバチも広く指す。日本語でも「蜂」の字はハチ類を想起しやすい。
    * 学習コスト: 同じ「蜂」でミツバチ(abel)と兼用すれば新出文字を減らせる（後で上付き記号などで区別予定）。
29. tine / 衣鱼 /
    * 選定理由: 衣鱼(yīyú) は中国語で「シミ（silverfish, 衣魚）」を指す標準的名称。
    * 学習コスト: 「衣(ころも)」「鱼(さかな)」はいずれも比較的常用の簡体字。ただし新規2文字だが、正式名称なので採用。
30. cim / 臭虫 /
    * 選定理由: ベッドバグ(南京虫)は中国語で一般に「臭虫(chòuchong)」。虫偏で分かりやすい。
    * 学習コスト: 「臭(におい)」＋「虫(むし)」で合計2文字。すでに「虫」は再利用できる。
31. muŝ / 蝇 /
    * 選定理由: 「蝇(yíng)」はハエを指す簡体字（旧字体は「蠅」）。虫偏でハエと分かる標準表記。
    * 学習コスト: 「虫」の要素を含む一文字。やや画数は多め(「蝇」は9画)だが、意味が明確。
32. abel / 蜂 /
    * 選定理由: ミツバチは中国語で「蜜蜂(mìfēng)」だが、「蜂」一文字でもハチ類を指せる。vesp(スズメバチ)との重複利用により新規文字を増やさずに済む。
    * 学習コスト: 「蜂」を再利用。日中ともハチ類を連想可能。
33. fagot / 巴松 /
    * 選定理由: ファゴット(バスーン)は中国語で「巴松(bāsōng)」と訳されることが多い（「巴松管」とも）。
    * 学習コスト: 「巴」「松」はそれぞれ常用字で比較的画数が少なく、音訳として標準的。
34. fanfar / 号角 /
    * 選定理由: ファンファーレを厳密に一字で表す方法はなく、「号角(hàojiǎo)」は「ホルン/らっぱ」を示し、そこから「号角声」→「ファンファーレ」的なニュアンスを連想しやすい。
    * 学習コスト: 「号(ごう)」「角(かく)」はいずれも基本的な字。
35. flan / 布丁 /
    * 選定理由: 中国語で「フラン（クリームカラメル）」に厳密に対応する単語は「焦糖布丁」などが多いが、簡潔に「布丁(bùdīng)」＝「プリン/プディング系デザート」で近いイメージを与えられる。
    * 学習コスト: 「布」「丁」ともに画数が少なく、一般的。
36. flanel / 法兰绒 /

* 選定理由: フランネルは中国語で「法兰绒(fǎlánróng)」が定訳。
* 学習コスト: 「法」「兰」「绒」は音訳由来で、やや文字数が多いが織物名称としては標準的。

1. frank / 法郎 /

* 選定理由: フラン(通貨)の漢語表記は「法郎(fǎláng)」。フランスの通貨を指すのに広く使われる。
* 学習コスト: 2文字。「法」はフランスの外来語表記でよく使われ、「郎」は比較的簡単。

1. floren / 弗罗林 /

* 選定理由: フロリンの音訳として「弗罗林(fúluólín)」がよく用いられる。
* 学習コスト: 「弗」「罗」「林」は外来語で頻出する字（弗/佛/福 など類似形多し）。

1. falang / 方阵 /

* 選定理由: 古代ギリシアのファランクス(密集方陣)は中国語で「方阵(fāngzhèn)」と訳されることが多い。
* 学習コスト: 「方」は4画、「阵」は6画。2文字で比較的簡潔。

1. parafin / 石蜡 /

* 選定理由: パラフィンは中国語で「石蜡(shílà)」。
* 学習コスト: 「石(いし)」「蜡(ろう)」の2文字。「蜡」は虫偏でやや画数があるが、専門用語としては標準。

1. relief / 浮雕 /

* 選定理由: レリーフ(浮彫り)は中国語で「浮雕(fúdiāo)」。
* 学習コスト: 2文字。「浮(うく)」と「雕(ほる)」で意味も把握しやすい。

1. barelief / 浅浮雕 /

* 選定理由: バスレリーフ(浅浮彫り)は「浅浮雕(qiǎn fúdiāo)」が一般的表現。
* 学習コスト: 「浅」を付け足すだけなので、(15)の「浮雕」を再利用できる。

1. fresk / 湿壁画 /

* 選定理由: フレスコは「湿壁画(shībìhuà)」とも呼ばれ、直訳すると「湿った壁への絵画」。
* 学習コスト: 「湿」「壁」「画」で合計3文字。やや長いが用語としては分かりやすい。

1. rokok / 洛可可 /

* 選定理由: ロココ式は中国語で「洛可可(luòkěkě)」と音訳されるのが一般的。
* 学習コスト: 全て外来音訳で、3文字ながら比較的広く知られる表記。

1. ciklop / 独眼巨人 /

* 選定理由: キュクロプス(サイクロプス)は「独眼巨人(dúyǎn jùrén)」。文字通り「独り眼の巨人」。
* 学習コスト: 4文字だが組み合わせると意味が直感的。

1. cirkumfleks / 抑扬符 /

* 選定理由: サーカムフレクス(circumflex)は、中国語で「抑扬符(yìyángfú)」等と訳されることが多い（強弱やイントネーションを示す記号というニュアンス）。
* 学習コスト: 3文字構成だが、印刷記号・発音記号としては仕方ない面あり。

1. franĝ / 流苏 /

* 選定理由: 房飾り(フリンジ、タッセル)は中国語で「流苏(liúsū)」が装飾房を指す一般的名称。
* 学習コスト: 2文字。「流」「苏」は比較的よく使われる字で、意味も「垂れ下がる装飾」として定着。

1. tonsur / 剃度 /

* 選定理由: トンスラ(剃髪)は僧侶の得度を指す場合が多く、中国語では「剃度(tìdù)」が通例。「剃髮」「剃头」などもあるが、宗教的ニュアンスは「剃度」が強い。
* 学習コスト: 2文字。「剃」は10画だが概念自体が特殊なので妥当。

1. tril / 颤音 /

* 選定理由: トリルは中国語で「颤音(chànyīn)」が標準（音楽用語でビブラートやトレモロ含め広く使う）。
* 学習コスト: 2文字。「颤(ふるえる)」「音(おと)」でイメージしやすい。

1. vals / 华尔兹 /

* 選定理由: ワルツは中国語で「华尔兹(huá’ěrzī)」という音訳が定着している。
* 学習コスト: 3文字だが、舞曲名として広く普及。

1. flut / 长笛 /

* 選定理由: フルートは「长笛(chángdí)」＝「長い笛」が正式名称。
* 学習コスト: 2文字で画数もそこまで多くなく、理解しやすい。

1. trumpet / 小号 /

* 選定理由: トランペットは中国語で「小号(xiǎohào)」が最も一般的。
* 学習コスト: 2文字とも初歩漢字で画数が少ない。

1. tambur / 鼓 /

* 選定理由: ドラム（太鼓全般）は中国語で「鼓(gǔ)」と書くのが基本。
* 学習コスト: 一文字で済み、直感的にも分かりやすい。

tamtam

* + 提案: 锣
  + 理由: タムタムは大きな銅鑼(ゴング)に近い打楽器。簡体字で「锣」が広く使われる。
  + 学習コスト: 「锣」は部首「钅(金へん)」を含むが、ほかの打楽器(鈸=钹 など)とも金へんが共通するので、ある程度まとめて学習可能。

1. cimbal
   * 提案: 钹
   * 理由: シンバルは中国語で「钹」が一般的表記。
   * 学習コスト: 「钹」も「钅(金へん)」を使うため、上記「锣」と同系統。併せて学習すると負担は比較的軽減される。
2. violonĉel
   * 提案: 大提琴
   * 理由: チェロの中国語名として定着している「大提琴」がもっとも認識されやすい。
   * 学習コスト: 「提」「琴」は弦楽器(小提琴=バイオリン、中提琴=ビオラ等)で繰り返し登場する字形なので、他の弦楽器名とまとめて習得可能。
3. ksilofon
   * 提案: 木琴
   * 理由: シロホン=木琴は中国語の常用訳。
   * 学習コスト: 「木」「琴」で構成。すでに「琴」は(3)等で使用しており、学習負担は比較的小さい。
4. sopran
   * 提案: 女高音
   * 理由: ソプラノの声域を指す標準的な中国語表現が「女高音」。
   * 学習コスト: 「女」「高」「音」のいずれも常用字で、他の声部(男高音・女中音・女低音など)とも一部共通。
5. tenor
   * 提案: 男高音
   * 理由: テノールの標準的中国語。「男高音」で男性の高声域を示す。
   * 学習コスト: (5)の「高音」を再利用。「男」は日常でも頻出文字。
6. trombon
   * 提案: 长号
   * 理由: トロンボーンは中国語で「长号」と呼ぶのが一般的。
   * 学習コスト: 「长」「号」は常用かつ画数も比較的少ない。
7. tamburin
   * 提案: 铃鼓
   * 理由: タンバリンの中国語は「铃鼓」が定訳。
   * 学習コスト: 「铃」は「钅(金へん)＋令」で、上記の「锣」「钹」と同じ金へん系。「鼓」は打楽器全般で意味を連想しやすい。
8. harmonik
   * 提案: 口琴
   * 理由: ハーモニカは中国語で「口琴」。
   * 学習コスト: (3)(4)の「琴」を再利用。「口」も基礎的な字で画数が少ない。
9. harmonium

* 提案: 簧风琴
* 理由: リードオルガン(ハーモニウム)の定訳が「簧风琴」。リード(簧)＋風琴の構成。
* 学習コスト: 「琴」は既出。「风」は4画で比較的少ないが、「簧」がやや画数多め。ただしオルガン系全般で「风琴」という形を流用可能。

1. diapazon

* 提案: 音叉
* 理由: 音叉は中国語で「音叉」。
* 学習コスト: 「音」は既出で、「叉」も画数3画と少ない。

1. gam

* 提案: 音阶
* 理由: 音階を指す中国語で「音阶」が一般的。
* 学習コスト: 「音」は既出。「阶」は7画だが、日常単語(台阶など)でも使われる。

1. ton

* 提案: 音
* 理由: 楽音・音色・音程など「トーン」を指す最も単純な表記として「音」。
* 学習コスト: 単文字かつ既出なので最小限。

1. melodi

* 提案: 旋律
* 理由: 旋律＝メロディの定訳。
* 学習コスト: 「旋」「律」はやや画数多めだが、中国語・日本語ともに「旋律」は馴染みある音楽用語。

1. ritm

* 提案: 节奏
* 理由: リズム＝「节奏」が一般的。
* 学習コスト: 「节」は簡体字で画数が少なく、「奏」も音楽用語では頻出。

1. takt

* 提案: 节拍
* 理由: 拍子（拍）や拍(beat)を指す標準的用法として「节拍」。
* 学習コスト: 15番と同じ「节」を再利用し、「拍」も画数9画で比較的覚えやすい。

1. orgen

* 提案: 管风琴
* 理由: パイプオルガンは中国語で「管风琴」。
* 学習コスト: 「风」「琴」は既出。「管」(14画)は新出だが、管弦楽の「管」など他楽器にも応用可。

1. gurd

* 提案: 手摇风琴
* 理由: 手回しオルガン(バレルオルガン)の定訳が「手摇风琴」。
* 学習コスト: 「手」「风」「琴」は既出または基礎字。「摇」がやや画数多いが、常用動詞「摇(揺らす)」。

1. ŝalm

* 提案: 未対応
* 理由: 古い(または民族系)管楽器“shawm”に対応する短い常用単字は存在しない。また確立した2文字熟語も少なく、日本語・中国語両方においてピンとくる簡易表記が見当たらないため。
* 学習コスト: 無理に新出・マイナー漢字を当てるより、現時点では未対応とした方が負担が少ない。

1. ald

* 提案: 女中音
* 理由: アルト（女性のやや低めの声域）を示す一般的表記。「女中音」。
* 学習コスト: (5)(6)と同じ「音」。新出は「中」ぐらいで、画数4画。

1. kontralt

* 提案: 女低音
* 理由: コントラルト＝女性の最も低い声域。「女低音」で示せる。
* 学習コスト: 「女」「音」は既出、「低」(7画)のみ新出。

1. orkestr

* 提案: 乐团
* 理由: オーケストラは中国語で「管弦乐队」や「交响乐团」等があるが、簡潔さ重視なら「乐团」。
* 学習コスト: 「乐」(4画)・「团」(6画)はいずれも頻出。管弦を入れない分、文字数・画数を抑えられる。

1. oktav

* 提案: 八度
* 理由: オクターブを示す中国語として「八度」が分かりやすい。
* 学習コスト: 「八」(2画)と「度」(9画)のみで比較的覚えやすい。

1. salvi

* 提案: 鼠尾草
* 理由: サルビア(セージ属)を総称する中国語名の一例。ガーデン用Salviaを指すなら「一串红」等もあるが、学名上は「鼠尾草」が代表的。
* 学習コスト: 「鼠」「尾」「草」はいずれも汎用漢字だが、やや画数は多め。

1. bazilisk

* 提案: 蛇怪
* 理由: バジリスクは伝説上の“蛇＋鶏(あるいはトカゲ)”的存在で特定1文字は存在しない。仮に「蛇怪」などで暫定的に表記する例がある。
* 学習コスト: 「蛇」「怪」は日常単語にも出現する(怪物、毒蛇など)ため、学べば応用可能。

1. bram

* 提案: 鲷
* 理由: ブリーム(bream)のうち、タイ科の一部を指すなら「鲷」が最も近い。中国語では「海鲷」「真鲷」など。
* 学習コスト: 「鱼(さかなへん)」＋「兆」から成る字で、新出だが魚類名としては比較的よく見かける。

1. braman

* 提案: 婆罗门
* 理由: バラモン(梵: Brahmin)を指す中国語表記として「婆罗门」が定着している。
* 学習コスト: 「婆」「罗」「门」いずれも比較的有名(「罗」は簡体字で、繁体は「羅」)。他のインド関連用語にも転用される。

### ****1) balzam****

swift

Copy

balzam/香脂/「バルサム＝香りのある脂」を直感しやすい/「香」「脂」いずれも常用で比較的画数も多くない

* 理由: 「バルサム」は漢語で「香脂」と表されることが多く、日中ともに意味が推測しやすい組合せ。
* 学習コスト: 新出は「香(9画)」「脂(10画)」の2字。

### 2) bismut

swift

Copy

bismut/铋/元素名に対応する正式表記/化学元素のため中国語では「铋」が一般的

* 理由: ビスマス(Bi)に対応する漢字は「铋」が正式。
* 学習コスト: 金偏+畢の組み合わせ。やや画数は多め(計11画)だが、化学用語として定着。

### 3) vermiĉel

swift

Copy

vermiĉel/粉丝/中国語で「春雨」「ビーフン」系を総称/日中ともに“細い麺状”と把握しやすい

* 理由: 中国語で「粉丝」は“春雨”系(細い麺、ビーフン等)の総称として日常的。
* 学習コスト: 「粉(10画)」「丝(5画)」はどちらも比較的よく使われる常用字。

### 4) prunel

swift

Copy

prunel/黑刺李/スモモ属(李)に「黒い刺」の実を表す名称/中国語でも「黑刺李」が通称

* 理由: 「sloe(ブラックソーン)」に対して中国語で最も一般的なのが「黑刺李」。
* 学習コスト: 「黑(12画)」「刺(8画)」「李(7画)」の3字。やや画数は多めだが、通称を優先。

### 5) glan

swift

Copy

glan/橡子/ドングリ＝「橡(オーク)の子(種)」/ドングリを指す日常的表現

* 理由: 中国語でドングリは「橡子」が最もわかりやすい。
* 学習コスト: 「橡(15画)」「子(3画)」。

### 6) karpen

swift

Copy

karpen/鹅耳枥/一般的中国語名をそのまま採用/他に単字がなく通称「鹅耳枥」

* 理由: イヌシデ(hornbeam)の漢名は「鹅耳枥」が定番。
* 学習コスト: 「鹅(9画)」「耳(6画)」「枥(8画)」の3字。ややマイナーだが他の代用が少ない。

### 7) frangol

swift

Copy

frangol/欧鼠李/クロウメモドキ科「Frangula alnus」を示す/属名Rhamnusに絡み「鼠李」を利用

* 理由: 「欧鼠李」や「鼠李」はbuckthorn系の植物名として辞典でよく見られる。
* 学習コスト: 「欧(8画)」「鼠(13画)」「李(7画)」。

### 8) pini

swift

Copy

pini/松/マツ属全般に「松」を使用/日中いずれも連想容易

* 理由: 「松」は最も代表的な“pine”の漢字。
* 学習コスト: 「松(8画)」は頻出の常用字。

### 9) sorp

swift

Copy

sorp/花楸/ナナカマド属Sorbusのうち中国語では「花楸」が代表名

* 理由: 「花楸(はなきゅう)」は、ヨーロッパナナカマド(Sorbus aucuparia)などを指す。
* 学習コスト: 「花(7画)」「楸(13画)」。楸はややマイナーだが他に通称少なし。

### 10) acer

swift

Copy

acer/枫/カエデ＝「枫」は日中とも“かえで”を想起しやすい/紅葉を連想

* 理由: 「枫」は“楓”の簡体字。日本語話者にも「楓」の簡体形として意味を取りやすい。
* 学習コスト: 「枫(8画)」は比較的少画数。

### 11) tili

swift

Copy

tili/椴/ボダイジュ＝中国語で「椴樹」表記が通例/単字「椴」も可

* 理由: Tilia属=「椴樹」。短くするなら「椴」。
* 学習コスト: 「椴(13画)」のみで、やや画数多めだが標準的表記。

### 12) gajl

swift

Copy

gajl/五倍子/フシ(五倍子)を示す漢名を優先/古くから製薬・染料で使われる

* 理由: 「gall-nut(五倍子)」は伝統的漢方でも有名。
* 学習コスト: 「五(4画)」「倍(10画)」「子(3画)」の組み合わせ。

### 13) fab

swift

Copy

fab/蚕豆/ソラマメ＝中国語で「蚕豆」が最も普通

* 理由: broad beanを中国語で「蚕豆」。日常食品名として認知。
* 学習コスト: 「蚕(10画)」「豆(7画)」。

### 14) fazeol

swift

Copy

fazeol/菜豆/インゲンマメ類(Phaseolus)は「菜豆」系の総称で扱いやすい

* 理由: 「菜豆」はいわゆるいんげん類・さやいんげんを総称。
* 学習コスト: 「菜(11画)」「豆(7画)」。既出の「豆」と組み合わせ。

### 15) datur

swift

Copy

datur/曼陀罗/チョウセンアサガオ類「Datura」を示す常用名/洋金花など異称もある

* 理由: 中国語で「曼陀罗」(datura)は比較的通じやすい。
* 学習コスト: 「曼(11画)」「陀(7画)」「罗(8画)」。やや合計画数大。

### 16) karob

swift

Copy

karob/角豆/イナゴマメ(Carob)を端的に表す/「角(さや)の豆」イメージ

* 理由: 「carob」は「角豆」や「角豆树」とも呼ばれるが、2文字の「角豆」で十分伝わる。
* 学習コスト: 「角(7画)」「豆(7画)」。どちらも既出・または頻出字。

### 17) cikori

swift

Copy

cikori/菊苣/チコリ・キクヂシャは中国語で「菊苣」が標準的

* 理由: chicoryは英語圏でも“Chicory”、中国語では「菊苣」。
* 学習コスト: 「菊(11画)」「苣(8画)」。

### 18) cedr

swift

Copy

cedr/雪松/セイヨウスギ(Cedar)属は中国語で「雪松」と呼ぶのが一般的

* 理由: 「Cedrus」＝「雪松属」。杉や柏と混同しない正式名として「雪松」。
* 学習コスト: 「雪(11画)」「松(8画)」。ただし「松」はpiniでも既出。

### 19) narcis

swift

Copy

narcis/水仙/スイセン属を中国語で「水仙」/日常語でも馴染み深い

* 理由: daffodil/narcissusに対応する中国語が「水仙」。
* 学習コスト: 「水(4画)」「仙(5画)」。画数少なめ。

### 20) sinap

swift

Copy

sinap/芥/カラシナ(からし)を漢字1字で表現/「芥末」などとも関連

* 理由: mustard plantは「芥」(からし)で十分簡潔。
* 学習コスト: 「芥(7画)」のみ。

### 21) lonicer

swift

Copy

lonicer/金银花/スイカズラ属の代表的中名/漢方的にも馴染みが深い

* 理由: 「金银花」は最も通用度が高い名称(別名「忍冬」も有名)。
* 学習コスト: 「金(8画)」「银(14画)」「花(7画)」。

### 22) gliciriz

swift

Copy

gliciriz/甘草/カンゾウを示す漢字/伝統中医学で広く知られる

* 理由: licorice＝「甘草」は中医薬の定番。
* 学習コスト: 「甘(5画)」「草(9画)」。

### 23) heder

swift

Copy

heder/常春藤/ツタ(アイビー)を中国語で指す慣用名

* 理由: ivy=「常春藤」。家庭園芸や薬用としても広く認知。
* 学習コスト: 「常(11画)」「春(9画)」「藤(18画)」でやや多いが標準表記。

### 24) urtik

swift

Copy

urtik/荨麻/イラクサ属「nettle」の代表的呼称

* 理由: 「荨麻」(xúnmá)は“イラクサ”類全般を指す名称。
* 学習コスト: 「荨(9画)」「麻(11画)」。

### 25) muskat

swift

Copy

muskat/肉豆蔻/ニクズクの中国語表記で最も一般的

* 理由: nutmeg=「肉豆蔻」が一般的な表記。
* 学習コスト: 「肉(6画)」「豆(7画)」「蔻(14画)」。

### 26) juniper

swift

Copy

juniper/杜松/ネズ・ジュニパー属を中国語で「杜松」と呼ぶ

* 理由: 「桧柏」「刺柏」などもあるが、Juniperusの総称としては「杜松」が短く通用。
* 学習コスト: 「杜(7画)」「松(8画)」。松は既出。

### 27) mili

swift

Copy

mili/小米/キビ・アワ類「millet」を一般に「小米」と呼ぶ/中国語で雑穀の代表

* 理由: 中国で最もポピュラーな“粟・キビ”を「小米」と総称することが多い。
* 学習コスト: 「小(3画)」「米(6画)」。どちらも非常に頻用。

papav ****/**** 罂粟 ****/****

* + 選定理由: 中国語で一般的な「ポピー(ケシ)」の名称。「罂粟」以外の1文字表記は実質なく、ポピーといえばまず「罂粟」となるため。
  + 学習コスト等: やや画数は多い(「罂(21画)」「粟(12画)」)が、ポピーの標準名として定着。日本語でも「罂粟」と書く場合がある。

1. fenkol / 茴香 /
   * 選定理由: 「ウイキョウ」を指す標準的な中国語表記。2文字でシンプル。
   * 学習コスト等: 「茴(7画)」「香(9画)」で計16画。香辛料や調味料関連で見かける機会があり、日本語話者にも比較的なじみがある。
2. ileks / 冬青 /
   * 選定理由: モチノキ属(Ilex)を指す中国語名は「冬青(属)」。日本語でも「冬青樹(とうせいじゅ)」などと書く場合があり、意味を推測しやすい。
   * 学習コスト等: 「冬(5画)」「青(8画)」で計13画。比較的画数少なめ。
3. artiŝok / 洋蓟 /
   * 選定理由: 「朝鲜蓟(ちょうせんアザミ)」ともいうが、より短い「洋蓟」表記も使われる。
   * 学習コスト等: 「洋(9画)」「蓟(13画)」で22画。「朝鲜蓟」(計38画)よりも簡潔。
4. kren / 辣根 /
   * 選定理由: ホースラディッシュの通称として「辣根」が使われる（文字通り「辛い根」の意味）。
   * 学習コスト等: 「辣(8画)」「根(10画)」で計18画。料理等でも見かける語で、意味の連想もしやすい。
5. timian / 百里香 /
   * 選定理由: タイム(Thyme)を指す一般的な中国語名。別名「麝香草」もあるが、画数が多いのでこちらを採用。
   * 学習コスト等: 「百(6画)」「里(7画)」「香(9画)」で計22画。中国語でハーブ系を表す名として定着している。
6. cinam / 桂 /
   * 選定理由: シナモン(肉桂)の主要成分を連想しやすい漢字。より正確には「肉桂」「桂皮」だが、1文字「桂」で広く“シナモン類”を連想できる。
   * 学習コスト等: 1文字10画と比較的シンプル。日本語の「桂(かつら/ケイ)」とも重なり意味はやや広いが、覚えやすい部類。
7. kamfor / 樟 /
   * 選定理由: カンフル(樟脳)の元となるクスノキの漢名「樟」。単に「樟(クス)」だけでも通じる。
   * 学習コスト等: 14画だが、標準的にカンフルを連想しやすい漢字。
8. kariofil / 丁香 /
   * 選定理由: チョウジ(クローブ)を中国語では「丁香」と表記するのが一般的。
   * 学習コスト等: 「丁(2画追加部含め7画と数えることも)＋香(9画)」で合計おおむね11～16画ほど。ほかの用途(花としての丁香=ライラック)もあるが、香辛料として「丁香」は広く通用。
9. cipres / 柏 /

* 選定理由: イトスギやヒノキ類などを広く「柏」(bǎi)と書くことがある(厳密には種によるが、標準的な短い表記として)。
* 学習コスト等: 9画の1文字。やや範囲が広いが、漢字1字で「柏樹系」を連想しやすい。

1. okzal / 酸模 /

* 選定理由: 「スイバ(ソレル)」の標準的な中国語表記は「酸模」。なお「酢浆草」はオキザリス属(カタバミ)を指す場合が多く、植物学的には別。
* 学習コスト等: 「酸(14画)」「模(14画)」で28画とやや多め。とはいえ植物名としては比較的定着。

1. zingibr / 姜 /

* 選定理由: ショウガを指す最も代表的な1文字。
* 学習コスト等: 9画1字。日本語の「生姜」表記とも近く、覚えやすい。

1. lol / 毒麦 /

* 選定理由: ドクムギ(Lolium temulentum)は中国語で「毒麦」。
* 学習コスト等: 「毒(9画)」「麦(7画)」で計16画。二文字だがわかりやすい。

1. rabarb / 大黄 /

* 選定理由: ダイオウ(薬用および食用のルバーブ)は中国語で「大黄」。
* 学習コスト等: 「大(3画)」「黄(11画)」で14画。古くから薬としても知られ、中国語圏で馴染み深い。

1. popl / 杨 /

* 選定理由: ハコヤナギ(ポプラ)系は「杨(杨树)」。1文字なら「杨」。
* 学習コスト等: 7画で簡潔。ポプラ科を指す漢字として中国語圏では代表的。

1. peoni / 芍药 /

* 選定理由: 「シャクヤク」を指す標準中国語。
* 学習コスト等: 「芍(7画)」「药(9画)」だが、簡体で「药」は日本の「薬」より画数が少ない。単に「芍」だと曖昧なので2文字を推奨。

1. kakt / 仙人掌 /

* 選定理由: サボテンの最も一般的な表記。
* 学習コスト等: 「仙(5画)」「人(2画)」「掌(9画)」の計16画。日本語でも「仙人掌」という表現があり、連想しやすい。

1. spinac / 菠菜 /

* 選定理由: ホウレンソウは中国語で「菠菜」。
* 学習コスト等: 「菠(11～12画)」「菜(11画)」でやや多めだが、最も標準的な名称。

1. kratag / 山楂 /

* 選定理由: サンザシの一般的な中国語表記「山楂」。
* 学習コスト等: 「山(3画)」「楂(13画)」で16画。果物やお菓子としても有名。

1. mahagon / 桃花心木 /

* 選定理由: マホガニーの標準的漢名。ほかに「红木」(やや広義)もあるが誤解されやすいので正式名称を優先。
* 学習コスト等: 4文字合計で22画ほど。やや多いが正確性重視。

1. tremol / 白杨 /

* 選定理由: アスペン(ポプラの一種)を中国語では「白杨」。
* 学習コスト等: 「白(5画)」「杨(7画)」計12画。ポプラ系の一種として中国語圏では馴染みがある。

1. onobrik / 红豆草 /

* 選定理由: サンフォイン(Onobrychis viciifolia)は「红豆草」と呼ばれる例が多い。
* 学習コスト等: 「红(6画)」「豆(7画)」「草(9画)」で計22画程度。三文字だが汎用漢字で構成。

1. visk / 槲寄生 /

* 選定理由: ヤドリギのうち特に欧米で言う「mistletoe」は「槲寄生」として知られる(広義には「寄生」だけでも総称可能)。
* 学習コスト等: 「槲(14画)」「寄(11画)」「生(5画)」で30画と多いが、標準和名・中名ともにこれ。

1. liken / 地衣 /

* 選定理由: 地衣類(lichen)を中国語で「地衣」と総称。
* 学習コスト等: 「地(3画＋部首)」「衣(6画)」で計9画程度と少なめ。

1. stip / 针茅 /

* 選定理由: ハネガヤ属(Stipa)は中国語で「针茅属」。
* 学習コスト等: 「针(10画)」「茅(9画)」で19画。「针」(針の簡体)が多少学習コストあるが、比較的再利用もしやすい部首構成。

1. filik / 蕨 /

* 選定理由: シダ類は広く「蕨」または「蕨类」。1文字なら「蕨」。
* 学習コスト等: 15画とやや多いが、シダを指す代表的な字。

1. hiacint / 风信子 /

* 選定理由: ヒアシンスは一般的に「风信子」と表記される。
* 学習コスト等: 「风(9画)」「信(9画)」「子(3画)」で合計21画。花名として定着。

hortensi

* + 提案: 八仙花
  + 理由: 中国語でアジサイを指す一般的名称の一つに「八仙花」がある。「绣球花」(繡球花)も同義だが、「八(2画)」「仙(5画)」「花(7画)」はいずれも比較的画数が少なく、かつ「花」は他の語根でも流用可能。
  + 学習コスト: 「花」は頻出漢字として再利用性が高い。「仙」も後述の「凤仙花」などで再利用できる。

1. endivi
   * 提案: 菊苣
   * 理由: エンダイブ(キクヂシャ)の中国語表記として「菊苣」または「苦苣」が使われるが、「菊苣」がより「菊(キク)＋苣(チシャ)」の構成を明確に示すため選定。
   * 学習コスト: 「菊」は「菊花(=chrysanthemum)」として再利用予定。やや画数はあるが、複数の植物名に絡む漢字で汎用性が高い。
2. gardeni
   * 提案: 栀子花
   * 理由: クチナシの中国語名は「栀子」または「栀子花」が一般的。植物名として「～花」の形を統一しやすい。
   * 学習コスト: 「花」はすでに活用。「栀」はやや使用頻度が低いが、中国語では園芸でもよく目にする字。
3. kalendul
   * 提案: 金盏菊
   * 理由: キンセンカ(カレンデュラ)に対応する標準的な中国語名。「金(ゴールド)＋盏(盃)＋菊(キク)」という意味合いで分かりやすい。
   * 学習コスト: 「菊」を再利用するため、同じ偏旁・漢字の重複使用に有利。「盏」は新規だが画数は少なめ(5画)で、「金」(8画)も比較的よく使われる。
4. krizantem
   * 提案: 菊
   * 理由: キク(菊花)を示す基本的な単字で、中国語でも「菊」は広義に菊全般を指す。
   * 学習コスト: 一文字なのでシンプル。すでに他語根でも「菊」を含む熟語を使うため、重複利用が可能。
5. balzamin
   * 提案: 凤仙花
   * 理由: ホウセンカ(鳳仙花)の定番名称。「凤(鳳)＋仙＋花」で「指甲花」の別名もあるが、「凤仙花」がより一般的。
   * 学習コスト: 「仙」「花」は既出(または再使用見込み)。「凤」はやや画数少なめ(4画)で使いやすい。
6. genist
   * 提案: 金雀花
   * 理由: “broom” (エニシダ属)を指す中国語名として一般的な「金雀花」がある。「金(ゴールド)＋雀(スズメ)＋花」。
   * 学習コスト: 「金」「花」は既出。新規に「雀」を導入するが、比較的日常でも見る漢字(スズメ)で馴染みやすい。
7. pistil
   * 提案: 雌蕊
   * 理由: 花のめしべ＝「雌蕊」が中国語での生物学的な正称。
   * 学習コスト: めしべを1文字で示す簡体字は存在しないため2字とした。「蕊」はやや画数が多め(15画)だが、生物用語としては標準。
8. bast
   * 提案: 韧皮
   * 理由: 「じん皮(内皮)」は中国語で「韧皮」(主に繊維質層を指す)と呼ばれることが多い。
   * 学習コスト: 「皮」は3画＋1点の部首で比較的簡単。「韧」(9画)はやや少ない部首構成だが、ほかの生物関連でも見かける可能性あり。
9. fuk
   * 提案: 墨角藻
   * 理由: ヒバマタ(Fucus)属の標準的な漢名。「墨角藻」と呼ばれる。
   * 学習コスト: 3文字いずれも少々画数が多いが、他に一般的かつ短い表記がほぼ無いため妥当と判断。
10. ricin
    * 提案: 蓖麻
    * 理由: ヒマ(トウゴマ、castor oil plant)は中国語で「蓖麻」が一般的。
    * 学習コスト: 「麻」は今後も大麻などで再利用。「蓖」は新規だがそこまで複雑ではない(13画程度)。
11. lin
    * 提案: 亚麻
    * 理由: 亜麻(flax)の中国語名として「亚麻」が最も標準的。
    * 学習コスト: 「麻」は既出で再利用可。「亚」は画数(7画)が比較的少なく、中国語では頻出の簡体字。
12. kanab
    * 提案: 麻
    * 理由: 麻(hemp)を直接指す一文字。大麻(cannabis)を含む広義としても通用する。
    * 学習コスト: 既に「蓖麻」「亚麻」で使用しており、そのまま再利用可能。
13. sorg
    * 提案: 高粱
    * 理由: モロコシ(ソルガム)は中国語で「高粱」が通称。
    * 学習コスト: 2文字だが、中国で頻繁に見られる穀物名。「高」は日常的な字、「粱」は米など穀類を示す際に使われる。
14. maiz
    * 提案: 玉米
    * 理由: トウモロコシを中国語では「玉米」と呼ぶのが一般的。
    * 学習コスト: 2文字とも基礎的かつ画数も比較的少ない部類(「玉」5画、「米」6画)。
15. aven
    * 提案: 燕麦
    * 理由: カラスムギ(オーツ)＝「燕麦」が標準的表記。
    * 学習コスト: 「麦」は今後も転用可能(大麦など)。「燕」は16画とやや多いが、中国語で「燕麦」はきわめて一般的。
16. horde
    * 提案: 大麦
    * 理由: オオムギ(大麦)＝「大麦」。
    * 学習コスト: 「麦」は「燕麦」と同じ。「大」は画数3画で非常に基礎的。
17. piz
    * 提案: 豌豆
    * 理由: エンドウ豆(pea)を指す一般的名称。
    * 学習コスト: 「豆」は今後も豆類を表すのに再利用可能。「豌」はやや画数が多めだが標準表記。
18. plantag
    * 提案: 车前草
    * 理由: オオバコ(plantain)は「车前草」。
    * 学習コスト: 「车」は簡体字で4画と少なく汎用度高め。「草」は他の草本植物名にも転用可。
19. akvilegi
    * 提案: 耧斗菜
    * 理由: オダマキ(Columbine)の標準的な中国語名。「耧斗菜」。
    * 学習コスト: 3文字すべて新規かつ画数がやや多いが、これが最も一般的。難しければ未対応も検討余地あり。
20. kamomil
    * 提案: 洋甘菊
    * 理由: カミツレ(カモミール)は「洋甘菊」が最も定着した名称。
    * 学習コスト: 「洋」は既出(洋葱など)で再利用しやすく、「甘」「菊」も画数はさほど多くない。
21. kameli
    * 提案: 山茶花
    * 理由: ツバキを中国語では「山茶花」と呼ぶのが一般的(ツバキ属全般を指す場合もある)。
    * 学習コスト: 「花」は再利用可。「山」は画数3画、「茶」も9画と比較的基礎的。
22. lap
    * 提案: 牛蒡
    * 理由: ゴボウは中国語で「牛蒡」または「牛蒡子」が使われるが、一般的に短い「牛蒡」が多い。
    * 学習コスト: 「牛」は4画で基本的。「蒡」はやや画数(12画)があるが妥当。
23. kapor
    * 提案: 刺山柑
    * 理由: フウチョウボク(Caper bush)は中国語で「刺山柑」が標準的。
    * 学習コスト: 「山」はすでに出現。新規「刺」「柑」は各9画程度で比較的覚えやすい。
24. nap
    * 提案: 芜菁
    * 理由: カブラ(カブ)を示す簡体字名が「芜菁」(伝統的には「蕪菁」)。
    * 学習コスト: 2文字とも常用ではやや少ないが、他の選択肢(「萝卜」は大根系に誤解される)より正確。
25. rap
    * 提案: 芜菁
    * 理由: 上記「nap」と同じくカブラを指す。エスペラント語根が異なるだけで同種植物を指す場合、同一表記を使い回して問題ない(上付き文字等で区別可)。
    * 学習コスト: 上記(25)と同様。
26. bulb
    * 提案: 洋葱
    * 理由: リストの日本語訳「玉ねぎ」に合わせ、中国語標準名は「洋葱」。
    * 学習コスト: 「洋」は既出。「葱」は新規だが14画でそこまで複雑ではない。

ranunkol ****/**** 毛茛 ****/ ラテン語由来の学名「Ranunculus」を指す標準的な中国語名 / 「毛(4画)」は頻出、「茛」はやや珍しいが植物名としては定着している。艹部首を使い回せる。****

1. absint / 苦艾 / 「ニガヨモギ」を表す一般的な呼称 / 「苦(8画)」と「艾(4画)」はいずれも比較的よく使われる字で、学習コストもそれほど高くない。
2. vink / 长春花 / ニチニチソウを指す標準的な中国語名 / 「长(4画)」「春(9画)」「花(7画)」はいずれも比較的基本的な漢字。「花」は他の植物名でも再利用可能。
3. levkoj / 紫罗兰 / アラセイトウ（ストック）を指す中国語名 / 「紫(11画)」「罗(8画)」「兰(5画)」。既に「紫」は他でも使う可能性があり、汎用性あり。「兰」も花名で再登場しやすい。
4. viburn / 荚蒾 / ガマズミ属の標準的呼称 / 「荚(9画)」「蒾(12画)」はいずれもやや画数多めだが、正式名称として定着。艹偏(草かんむり)系で植物名とわかりやすい。
5. konvolvul / 旋花 / ヒルガオ類（bindweed）の一種を指す呼称 / 「旋(11画)」「花(7画)」。既出の「花」を再利用し、植物名であることを明示。
6. siring / 紫丁香 / ライラック(lilac)を指す標準的な呼称 / 「紫(11画)」「丁(2画)」「香(9画)」。すでに「紫」を他の語根でも使用予定、繰り返しで学習負荷を軽減。
7. nimfe / 睡莲 / スイレン(waterlily)の一般的な中国語名 / 「睡(13画)」「莲(7画)」。画数はやや多めだが、ごく一般的な名称で認知度が高い。
8. lili / 百合 / ユリ(lily)の最も基本的な表現 / 「百(6画)」「合(6画)」。いずれも初級レベルの漢字で、学習コストが低い。
9. konval / 铃兰 / スズラン(lily of the valley)の常用呼称 / 「铃(10画)」「兰(5画)」。すでに「兰」は再利用範囲が広い。
10. taksus / 紫杉 / イチイ属(Taxus)の中国語名 / 「紫(11画)」「杉(7画)」。既出の「紫」を活用し、学習負担を抑える。
11. sambuk / 接骨木 / ニワトコ(Elder)の標準的漢字表記 / 「接(11画)」「骨(10画)」「木(4画)」。3文字だがいずれも比較的使用頻度が高く、理解しやすい。
12. fraksen / 白蜡 / トネリコ(Ash)は「白蜡树」と呼ばれるが、短縮して2文字で提案 / 「白(5画)」「蜡(14画)」。やや画数が多いが、中国語での認知度は高い。必要に応じて「白蜡树」としても可。
13. ment / 薄荷 / ミント(mint)の一般的呼称 / 「薄(16画)」「荷(10画)」はいずれもやや画数は多いが、中国語圏で最も通用しやすい。艹偏が入り植物名と直感しやすい。
14. erik / 欧石南 / ヒース(heather)属Ericaを指す標準的呼称 / 「欧(8画)」「石(5画)」「南(9画)」。画数は合計22だが、「欧」「石」「南」は比較的よく出現する字。
15. galant / 雪滴花 / スノードロップ(snowdrop)を意味する常用訳 / 「雪(11画)」「滴(14画)」「花(7画)」。既出の「花」を活用し、植物名を明確化。
16. junk / 灯芯草 / イグサ(rush)を指す一般的な呼称 / 「灯(6画)」「芯(7画)」「草(9画)」。3文字だがいずれも漢字学習の初中級でよく出るため再利用性あり。
17. kan / 芦苇 / アシ(reed)の中国語での代表的名称 / 「芦(7画)」「苇(7画)」。どちらも艹部首系統で植物名と分かりやすい。
18. kverk / 栎 / カシ(オーク, oak)は「栎树」「橡树」などと呼ばれるが、画数の少ない単字で提案 / 「栎(9画)」は比較的コンパクトで、木偏を含むため樹木と分かりやすい。
19. aln / 赤杨 / ハンノキ(alder)の一種の呼称 / 「赤(7画)」「杨(7画)」。ともに基本漢字で学習コストを抑えやすい。
20. musk / 苔藓 / コケ(moss)の常用名 / 「苔(8画)」「藓(14画)」で画数はややあるが、いずれも植物を示す艹偏を共有。
21. pedik / 虱 / シラミ(louse)を表す単字 / 「虱(8画)」。一文字で表せるため学習コストを低く抑えられる。
22. larik / 落叶松 / カラマツ(larch)の標準的な呼称 / 「落(12画)」「叶(5画)」「松(8画)」。3字だが植物名として広く認知されている。
23. kard / 蓟 / アザミ(thistle)を意味する常用単字 / 「蓟(13画)」。艹偏を含み、植物と分かりやすい。
24. malv / 锦葵 / ゼニアオイ(mallow)を指す標準的名称 / 「锦(13画)」「葵(12画)」。2字だが、いずれも花や植物の名に使われる常見字。
25. cejan / 矢车菊 / ヤグルマギク(cornflower)の常用呼称 / 「矢(5画)」「车(4画)」「菊(11画)」。やや合計画数は多いものの、植物名として定着。
26. miozot / 勿忘草 / ワスレナグサ(forget-me-not)を意味する呼称 / 「勿(4画)」「忘(7画)」「草(9画)」。発音・字形とも比較的初級で学習しやすい。

melis ****/ 香草 / レモンバームなど「香りのあるハーブ」のイメージから / 「香(匂い)」「草(植物)」はいずれも頻出の漢字で、学習コストも比較的低い****

1. mimoz / 含羞 / ミモザ(特に含羞草=Mimosa pudica)という連想が強いため / 「含」「羞」はやや画数多めだが、日本語話者も「含羞草(オジギソウ)」でイメージしやすい
2. rezed / 芳草 / 香りのよいハーブ(モクセイソウ)の意味合いから「芳(香り)＋草(植物)」 / 「芳」は「香」と同様に「良い香り」を示すため、日本語話者にも分かりやすい
3. lent / 豆 / レンズマメ(lentil)を簡略化して「豆」と総称 / 正確には「小扁豆」等があるが、一文字で汎用性が高く画数も少ない「豆」を優先
4. laktuk / 生菜 / 中国語で「レタス」を指す場合によく使われる語(生菜) / 「生」は5画、「菜」は11画だが、ともに頻度が高く学習コストも比較的低い
5. vinjet / 花饰 / 書籍などの装飾カット(ヴィニェット)＝「花をあしらった装飾」のイメージ / 「花(植物)＋饰(装飾)」の組み合わせで分かりやすく、すでに「饰」は他でも使う見込み
6. garnitur / 配饰 / 「装身具一式」「アクセサリー類」の意味から、中国語で「アクセサリー」を指す「配饰」 / 既出の「配」は「分配」などでも使う可能性があり、学習コストを抑えやすい
7. garn / 配备 / 「装飾する、(設備を)装備する、補強する」など多義だが「(道具を)整えて備える」イメージを優先 / 「配」は再使用、「备」は頻度の高い簡体字で学習コストも比較的低い
8. ornam / 装饰 / 「装飾する、飾る」という意味そのもの / 「装」「饰」はどちらも他で再利用可能
9. dekoraci / 装饰 / こちらも「デコレーション＝装飾」なので同じく / 既出の「装饰」を再利用し学習コストを低減
10. diskont / 贴现 / 商業的な「手形割引」に相当する標準的な中国語 / 「贴(貼)」と「现(現)」はいずれも簡体字で比較的よく使われる
11. rabat / 折扣 / 一般的な「割引」を意味する日常用語 / 「折」は画数が少なく、他でも「折旧」(後述)で再利用
12. likvid / 清算 / 金融用語として一般的な中国語「清算」を採用 / 「清」「算」は汎用度が高めで、他文脈でも学習しやすい
13. amortiz / 折旧 / 「原価消却」に近い概念として「折旧」(本来は減価償却に近い)を流用 / すでに「折」は登場済みで、「旧」は5画と比較的少ない
14. evit / 避 / 「避ける」を単一漢字で表す / やや画数(16画)は多いが「回避」「避免」などに含まれ、意味は想像しやすい
15. de/ten## / 扣留 / 「(人を)引き止める、拘留する」の意味に近い / 「扣(7画)」「留(10画)」で「留」は「滞留」「保留」などでも登場する可能性がある
16. border / 边 / 縁取る＝「端」「縁」のイメージで、単一漢字なら「边」(辺の簡体) / 画数も5画と少なく、境界や端を示す語として汎用性あり
17. ekskomunik / 逐出 / 「破門」「教会から追放する」イメージで「逐出」(追い出す) / 「逐(10画)」「出(5画)」はいずれも常用字
18. ced / 让 / 「譲歩する、譲る」の意味をシンプルに / 「让(讓)」は5画と少なめで、日本語の「譲る」に近い意味を持つ
19. las / 放 / 「手放す、放す」のイメージが単字「放」で表しやすい / 8画と比較的書きやすい
20. rezign / 放弃 / 「放棄する、辞退する」の一般的な中国語 / 「放」「弃」はどちらも画数がそれほど多くなく、前者(放)は既出
21. abdik / 退位 / 王・皇帝などが位を退く＝「退位」が対応 / 「退(9画)」「位(7画)」はともに常用字
22. ekzil / 放逐 / 「国外追放」や「流刑」に近く、よく使われる「放逐」を採用 / 「放」は既出、「逐」は「逐出」と同じで再利用
23. emancip / 解放 / 「解放する」の意味そのまま / 「解(13画)」「放(8画)」で「放」はすでに複数箇所で使用
24. dis / 分 / 「分散」を示す接頭辞なので、単一字「分」を割り当て / 4画と非常に少なく、再利用度も高い
25. divid / 分割 / 「分割する」の直接的な意味に / 「分」は既出で「割」(12画)は増えるが、日本語話者にも意味はわかりやすい
26. distribu / 分配 / 「分配する」そのもの / 「分」「配」いずれも既出で、学習コストがさらに低減できる

ekstrakt ****/**** 抽 ****/ 「抜き出す」「取り出す」の意味に合致 / 画数が少なく(8画)、かつ「抽取」の形でも使われ頻度が高い****

1. deriv / 派生 / 「派生する」の語感を端的に示す熟語 / 「派」「生」ともに比較的よく使われる漢字で、日本語話者にも意味が取りやすい
2. dedukt / 推断 / 「推(お)し量る・推理して結論を導く」の意 / 「推」は後述の「puŝ(推)」とも共通し、学習コストをある程度抑えられる
3. esting / 灭 / 「消滅させる・消す」の意に近い単字 / 5画と画数が少なく、「撲滅」「熄灭」など熟語も豊富
4. solv / 解 / 「解く」「解決する」の核となる意味を単字で表せる / 「理解」「解决」など派生語も多く、日本語圏・中国語圏とも馴染みが深い
5. kresk / 生 / 「成長する」「生じる」の意を短く表現 / 5画で頻出度が高く、「生長」「生长」などにも展開できる
6. veget / 植 / 「植物・植生」のニュアンスを一文字で表現 / やや画数は多い(12画)が「植物」「种植」等での使用頻度が高め
7. ekspluat / 开发 / 「開発する」「(資源を)開発・利用する」の熟語 / 「开(5画)」「发(5画)」はいずれも基本的な漢字で、意味把握しやすい
8. progres / 进 / 「進む」「進歩する」「前進する」を一文字で / 4画と少画数で、「进步」「进展」など関連熟語が多彩
9. evolu / 进化 / 「進化する」をそのまま表す代表的な熟語 / 「进」は上記9番と同じ、「化」は4画で学習コスト比較的低め
10. evoluci / 进化 / 上記(10)と同じく「進化」を示す / 同一漢字の使い回しで学習負担を削減
11. fal / 落 / 「落ちる」「下に落下する」の意味を端的に表す / 12画だが「下落」「落下」など多用される漢字
12. redukt / 减 / 「減らす」「縮小する」の意味 / 7画で「减小」「减少」など基本的な用法が多い
13. degrad / 降 / 「降格する」「下げる」のニュアンスを単字で表現 / 8画で、「下降」「降职」など関連語も把握しやすい
14. kaduk / 朽 / 「老朽」「朽ちる」といった意味合いに近い / 6画と比較的コンパクトながら「腐朽」にもつながる
15. degener / 退化 / 「(生物学的・状態的に)退化する」を直接表す熟語 / 「退(9画)」「化(4画)」ともに比較的基本的で、「进化(10,11)」と対になる
16. velk / 枯 / 「枯れる」「萎れる」を一文字で表現 / 9画で「枯萎」「干枯」などによく用いられる
17. dekadenc / 衰 / 「衰退・デカダンス(頽廃)」のイメージに近い / 8画とやや少なめで、日本語「衰退」と近似
18. putr / 腐 / 「腐敗する」「腐る」などのニュアンス / 14画でやや多いが、「腐败」「豆腐」など日中双方で認知度が高い
19. pere / 亡 / 「死ぬ・滅びる・破滅する」のイメージに近い / 3画と非常に少なく、熟語展開もしやすい(死亡/逃亡等)
20. bankrot / 破产 / 「破産する」の標準的な言い方 / 「破(10画)」「产(6画)」とも常用度が高く、意味が明快
21. akcel / 加速 / 「(を)加速する」の定番熟語 / 「加(5画)」「速(10画)」はいずれも多用される基本漢字
22. impet / 冲 / 「突進する」「衝撃的に突き進む」のニュアンス / 6画でシンプル、「冲锋」「冲击」などで使用頻度も高い
23. impuls / 冲动 / 「衝動」「突発的な動き」の定番熟語 / 上記(23)と同じ「冲」を使い回せ、学習コストを減らせる
24. puŝ / 推 / 「押す」「押し進める」の基本的表現 / 11画だが「推进」「推理」など幅広く使われる
25. ŝov / 推 / 「押しやる」「(場所を)ずらす」のイメージも「推」で代替可能 / (25)と同字扱いで区別は上付き文字等により対応予定
26. prem / 压 / 「押し付ける」「圧力をかける」イメージに合致 / 6画で「压力」「压迫」など熟語多く、学習しやすい

trud ****/**** 强 ****/ 「強制・強加」のイメージから / 「強(强)」は日中ともに頻出・学習コストが比較的低い****

1. streĉ / 紧 / 「紧张」「拉紧」(張り詰める・緊張)などの連想 / 画数が多すぎず、意味が把握しやすい
2. urĝ / 急 / 「急迫」「紧急」など“差し迫る”ニュアンスを直接表す / 日中ともに極めて高頻度で学習しやすい
3. insist / 坚持 / 「坚持」が「固執する／主張し続ける」の標準訳 / 単字「坚」だと意味が弱いため二字熟語を採用
4. persekut / 迫害 / 意味としては「逼迫して害を加える」＝迫害が直訳的に対応 / 二字熟語だが非常に一般的
5. impon / 威 / 「威圧」「威力」「威風」を連想でき、“威圧する”ニュアンスを一字で表しやすい / 画数も多すぎない
6. ribel / 叛 / 「叛乱」「反叛」の語感どおり、“反乱・背く”意味を単字で表現 / 学習コストも比較的低め
7. revoluci / 革命 / 日中とも「革命」が最も直截的 / 二字ながら極めて高頻度で意味も明確
8. parad / 游行 / 軍事パレード含め、行進・デモなどを広くカバー / 二字熟語だが常用でわかりやすい
9. kapitulac / 投降 / 「降伏」の意味を直接表す標準的な語 / 二字だが高頻度
10. pendol / 摆 / 「摆锤(振り子)」「钟摆(振り子の振れ)」などで使われる / “振り子”の名詞イメージにも比較的適合
11. oscil / 摇 / “振動・揺れ動く”の意味を広くカバー / 今後「揺れる系」の語根で統一し学習負担を低減
12. flirt / 飘 / 旗や布が風になびく“ひらひら翻る”感 / 「飘扬」「飘动」などの熟語で頻出
13. flagr / 闪 / 炎の揺らめき・ちらつき(光の点滅)を「闪(闪烁)」で表現 / 画数少なく日常的にも使われる
14. vibr / 摇 / 本来「振(振动)」も候補だが，“揺れ・振動”系を「摇」に統合して学習コスト削減
15. trem / 摇 / 震えるニュアンスを同じく「摇」で吸収 / 細かい違いは上付き文字等で後区別
16. sku / 摇 / 強い揺さぶりも「摇」にまとめる / 重複利用で新規漢字を増やさない
17. balanc / 摇 / 上下(左右)にゆらゆら動く動作全般を「摇」で包括
18. lul / 摇 / 子どもを揺らして寝かしつけるイメージも「摇」に含めて再利用
19. pep / 啾 / 小鳥のさえずりに使われる擬音(「啾啾」) / 他の単字擬声語より“鳥の声”に近い
20. tord / 扭 / “よじる・ひねる”を日中共通で「扭(扭转など)」と認識しやすい / 画数も比較的少ない
21. kirl / 搅 / かき混ぜる・撹拌する動作 / 「搅拌」などで頻用されるため学習しやすい
22. sving / 摇 / 振る・振り回す動きも広義で「摇」に含める / なるべく重複活用
23. ŝancel / 摇 / ぐらつかせる・よろめかせる動きも「摇」で統一
24. strab / 眯 / 目を細める・すがめる(眯眼)ニュアンスに近い / 他に単字候補少ないが比較的わかりやすい
25. grinc / 吱 / きしむ・ギシギシいう音を表す擬声字(「吱吱」など) / 擬音系は少字数にまとめる
26. knar / 吱 / 同じく“きしむ”イメージを「吱」で再利用 / 新規漢字の導入を避け学習コスト削減

kaŭr

* + 蹲
  + 「蹲」は「しゃがむ」「うずくまる」行為を日中双方で連想しやすい標準的な語。
  + 画数はやや多め(「足」偏＋「尊」の組み合わせ)ですが、「うずくまる/しゃがむ」の意味を一文字で表すには一般的なので採用。

1. ŝim
   * 霉
   * 「霉」は「カビ」「黴」を意味する簡体字。日常でも「发霉(カビが生える)」などの表現がよく使われる。
   * もともとの繁体字「黴」より画数が少なく、意味が直感的。
2. ĉif
   * 皱
   * 「皱」(伝統的には「皺」)は「しわ、しわくちゃ」を意味し、「しわを寄せる・しわくちゃにする」ニュアンス。
   * 比較的よく使われる字で、「しわ・折り目」のイメージに直結する。
3. ŝrump
   * 缩
   * 「缩」(伝統:「縮」)は「縮む」「収縮する」「小さくなる」を表す。しなびる・萎縮する・しぼむようなニュアンスに対応。
   * 「皱(しわ)」とはやや違い、「縮む」の意味合いを広くカバーできるため選定。
4. kalfatr
   * 填缝
   * 建築・機械等の「すき間を埋める」「コーキングする」には「填缝」(＝「目地を埋める」)が一般的表現。
   * 一文字で完全に「コーキング」を表す字は存在しないため、やや画数は増すが2文字熟語を採用。
5. kluk
   * 咯咯
   * 鶏などが「コッコッ」と鳴く擬声に近い中国語表記。「咯咯叫」などと使うが、ここは短く「咯咯」。
   * 単独一文字よりも2文字のほうが「cluck」の擬音として定着している。
6. frot
   * 擦
   * 「こする・摩擦する」を意味。日常で「擦る」動作(例えば「擦拭」など)は非常に多用される。
   * 「摩」や「磨」でも近いが、「擦」のほうが「こする・摩擦」の直接的ニュアンスを強く表す。
7. kolizi
   * 撞
   * 「衝突する」「ぶつかる」を表す代表的な字。「碰(ぶつかる)」とも迷うが、「撞」はより「衝突」のニュアンスが明確。
   * 画数はやや多いが、衝突を一文字で端的に表せる。
8. ŝir
   * 撕
   * 「撕」は「(紙や布などを)引き裂く」「ちぎる」を意味する常用字。
   * 「扯」でも「引きちぎる」に近いが、より「破る・ちぎる」イメージが強いので「撕」にした。
9. skrap
   * 刮
   * 「削る」「こそげ取る」「かきとる」を意味し、「scrape」に近い使い方ができる。
   * 画数も8画で比較的少なく、日常表現(例:「刮胡子」=ひげをそる)にも出てくるため連想しやすい。
10. lek
    * 舔
    * 「舐める」行為を表す標準的な動詞。
    * 一文字で「舐める」を表すのは基本的に「舔」が代表的。
11. pinĉ
    * 捏
    * 「つまむ」「指先でつかむ」「軽くつねる」の意味を持つ。
    * 「掐」はより強くつねるイメージだが、広義の“pinch”としては「捏」のほうがやや汎用的。
12. maĉ
    * 嚼
    * 「かむ」「噛み砕く」「咀嚼する」を表す。
    * 繁体・簡体ともに「嚼」だがやや画数は多め。しかし「咀嚼(咀=8画+嚼=19画)」より単体のほうがまだ簡潔。
13. mord
    * 咬
    * 「かむ」「かみつく」を表す基本語。
    * 8画と比較的少なく、口偏で意味も把握しやすい。
14. grat
    * 挠
    * 「かく(掻く)」「ひっかく」「かきむしる」の意味。特に「痒い所を掻く」は「挠痒」など。
    * 「抓」も「つかむ・引っかく」に近いが、痒みを掻く感じは「挠」が直截的。
15. karambol
    * 撞
    * 玉突き台で玉同士が衝突するイメージ。「衝突」の意味で既出(kolizi)の「撞」を再利用。
    * 学習コスト削減のため同一字を使い回す。
16. pik
    * 刺
    * 「刺す」「突き刺す」「チクッとする」等を表す代表字。
    * 画数8画で比較的少なく、意味の連想もしやすい。
17. bat
    * 打
    * 「殴る」「打つ」「たたく」の定番字。5画とシンプルで頻度も高い。
    * 非常に汎用性が高く、学習コストを抑えられる。
18. frap
    * 打
    * 「(ノック・軽く叩くも含めて)打つ」「たたく」の広義として再利用。
    * 「敲(ノックする)」とも迷うが、すでに登場済みの「打」を使うほうが汎用性が高い。
19. grimac
    * 鬼脸
    * 「しかめっ面をする」「変顔をする」というニュアンスで、直訳すると「鬼の顔」。実際「扮鬼脸」「做鬼脸」などとも。
    * 一文字で「grimace」に対応する字がないため2文字熟語を採用。
20. ŝerc
    * 玩笑
    * 「冗談」「ジョーク」を意味する。動詞としては「開玩笑」だが、語根としては「玩笑」がコンパクト。
    * 「笑」を含む「笑話(冗談)」もあり得るが、どちらも「冗談」として通じるので画数も考慮し「玩笑」に。
21. rid
    * 笑
    * 「笑う」を最もシンプルに表す字。
    * 画数10ながら、非常に頻度が高く学習しやすい。
22. rikan
    * 嘲
    * 「あざ笑う」「嘲笑する」に近く、やや「軽蔑的に笑う」ニュアンスを持つ。
    * 「讥笑」「嘲笑」など2文字にする方法もあるが、一文字でも「あざける」意味を含む。
23. miaŭ
    * 喵
    * ネコの鳴き声(ニャー)の擬声語。中国語では「喵喵(猫の鳴き声)」などと表記。
    * 一文字「喵」だけでも猫の鳴き声として認識されやすい。
24. boj
    * 吠
    * 犬などが「ほえる」動作。
    * 擬声語「汪汪」(ワンワン)もあるが、動詞としては「吠」が一文字で明確。
25. kri
    * 叫
    * 「叫ぶ」「声をあげる」「呼ぶ」など広く使われる。5画と少なく汎用性も高い。
    * 「喊」も「大声を出す」の意味があるが、画数多めなので「叫」を優先。
26. blek
    * 嘶
    * 「(馬が)いななく」「大型動物の鳴き声(うめく/唸る)」に近い表現。「嘶鸣(嘶=シー, 鸣=鳴く)」で馬の鳴き声を表す。
    * 画数はやや多いが、馬のいななきの擬音として使われるため採用。

### ****1) fajf (口笛を吹く)****

swift

Copy

fajf/吹/「吹」は「吹く」を意味し口笛のイメージにも近いため/画数7で比較的簡単、口偏なので他の発声系とも合わせやすい

* 選定理由: 「啸(whistle)」もあるがやや文語寄り。「吹」の方が初学者にも馴染みやすい。
* 学習コスト: 口偏で、ほかの「咕」「哝」「吐」などと同様に「口」に関連した動詞であることが直観しやすい。

### 2) murmur (つぶやく)

swift

Copy

murmur/咕哝/つぶやき・ぶつぶつ言うニュアンスを持つ常用表現「咕哝」を採用/「咕」+「哝」の2文字だが、本リスト内でgrumblにも流用

* 選定理由: 中国語で「咕哝 (gū nóng)」は「つぶやく・ぶつぶつ言う」の定番表現。
* 学習コスト: この後の「grumbl」にも同じ「咕哝」を割り当てることで新出漢字を抑制。

### 3) grumbl (ぶつぶつ言う)

swift

Copy

grumbl/咕哝/「つぶやく」「ぶつぶつ不平を言う」を同じ熟語で対応/同上

* 選定理由: 「murmur」とほぼ類似のボソボソ・ブツブツ言うイメージ。
* 学習コスト: murmurと同じく「咕哝」を再利用し、漢字の種類を増やさない。

### 4) sput ((つばを)吐く)

swift

Copy

sput/吐/「吐」は「つばを吐く」「嘔吐する」など広義の「吐き出す」を表す/画数6で非常に簡潔、vomやkraĉとも共有

* 選定理由: 中国語の「吐」には「つばを吐く」「嘔吐する」など吐き出す動作全般を含む。
* 学習コスト: 同じ「吐」をvom, kraĉ にも流用して1文字に集約。

### 5) vom ((を)吐く,嘔吐する)

swift

Copy

vom/吐/嘔吐の意味にも「吐」を流用/同上

* 選定理由: 「呕」(嘔)などを使う方法もあるが、「吐」と統一する方が学習コストを抑えられる。
* 学習コスト: sput, kraĉ と同じ「吐」を使い回し。

### 6) kraĉ (たんを吐く)

swift

Copy

kraĉ/吐/唾(つば)や痰を吐く動作も同じく「吐」で対応/同上

* 選定理由: 中国語話者は具体的に「吐痰」と言うが、単独では「吐」でも問題なく「吐き出す」動作を連想可能。
* 学習コスト: sput, vom と同じ1文字の再利用。

### 7) osced (あくびをする)

swift

Copy

osced/哈欠/中国語の「打哈欠」から、代表的2文字「哈欠」で対応/「欠」は“あくび”の部首だが、単独利用は直感度が低い

* 選定理由: 単独の「欠」だけでは「欠ける」や「足りない」の意味が強く、あくびの意味が伝わりにくい。
* 学習コスト: 2文字だが、「哈」(口偏)と「欠」はほかの“口関連”の文字群と関連づけやすい。

### 8) tus (せきをする)

swift

Copy

tus/咳/単独の「咳」で「咳をする」を表現/簡潔で日中双方に馴染みやすい

* 選定理由: 一般的に「咳嗽」と書くが、「咳」1文字でも「咳をする」の意味は十分に通じる。
* 学習コスト: 画数8とそこそこだが、口偏で動詞系をまとめやすい。

### 9) tern (くしゃみをする)

swift

Copy

tern/喷嚏/「喷嚏(ペンティ)」が「くしゃみ」を指す標準表現/単独「嚏」は画数が多く、しかし慣用「喷嚏」で伝わりやすい

* 選定理由: 「嚏」単体は17画と多めだが、中国語話者には「喷嚏」の2字で「くしゃみ」の意味が明瞭。
* 学習コスト: 新出漢字は「喷」と「嚏」だが、くしゃみを他の動詞と混同するよりは妥協しやすい。

### 10) singult (しゃっくりする)

swift

Copy

singult/嗝/「打嗝(しゃっくり・げっぷ)」の要素から、単独の「嗝」で対応/「しゃっくり」「げっぷ」両方の音を連想

* 選定理由: 中国語で「嗝」は「しゃっくり」や「ゲップ」の擬音。単独でも比較的通じやすい。
* 学習コスト: 他に使い回しづらいが仕方ない部分。

### 11) ĝem (うめく)

css

Copy

ĝem/呻吟/「呻吟」は「うめく」「うめき声を出す」の定番表現/「呻」+「吟」でやや画数は増えるが意味は直感的

* 選定理由: 「呻」単独はあまり使わず、「呻吟」が「うめき声」を表す慣用。
* 学習コスト: 2文字だが、どちらも口偏・言偏系で“声”の発生を連想しやすい。

### 12) ronk (いびきをかく)

swift

Copy

ronk/鼾/「鼾(いびき)」をそのまま使用/中国語でも「打鼾」というが、単独「鼾」でも意味は明確

* 選定理由: 「鼾」は日中ともに“いびき”の字として認知されやすい(日本ではやや難字だが)。
* 学習コスト: 12画と中程度だが一文字で完結するメリットを優先。

### 13) kartav (ｒ音をのどで発音する)

bash

Copy

kartav/未対応/適切な1文字・熟語が乏しいため今回は割当を見送り/-

* 選定理由: いわゆる“口蓋垂Ｒ”に対する定番の簡体字表記が存在せず、無理に当てはめると学習コスト増。
* 学習コスト: 特定方言表現などもなく、割当は非現実的と判断し「未対応」。

### 14) laŭt (大声の)

swift

Copy

laŭt/大声/「大声(だいせい)」で「大きい声」をそのまま表現/「大」と「声」はどちらも比較的画数が少なく覚えやすい

* 選定理由: 単独「大」では“大きい”全般。「声」では“音”全般。2文字組で「大声」が最も自然。
* 学習コスト: 「声」は音関連で他にも転用するので有用。「大」(3画)も初歩漢字。

### 15) sonor (チンチンと鳴る, (鐘などが)鳴り響く)

swift

Copy

sonor/叮/小さい鈴などが「チリン」と鳴るイメージで「叮」を採用/後述のtintとも共用し、新出を抑制

* 選定理由: 「鸣」(鳴)も候補だが、こちらではより小さめの“チリン”音「叮」を利用。
* 学習コスト: tintと同じ割当で1文字に集約。

### 16) son (音がする)

swift

Copy

son/声/「音」「サウンド」全般として「声」を流用/口・耳に関する概念で直感しやすい

* 選定理由: 「音(音)」でもよいが、簡体字での画数が「声」の方が少なく、中国語初学者にも分かりやすい。
* 学習コスト: 今後「声」を様々な“音”関連に広く再利用可。

### 17) voĉ (声)

bash

Copy

voĉ/声/人の声(ボイス)を指す意味でも同じく「声」を流用/sonと区別は上付き文字等で対応

* 選定理由: 厳密には“声”と“音”は別だが、学習コスト削減のため同じ字を使い、補助記号で区別。
* 学習コスト: sonと共用し、新たな漢字を増やさない方針。

### 18) tint (チンチンと鳴る, チリンと鳴る)

swift

Copy

tint/叮/小さく澄んだ音「チリン」をイメージしsonorと共用/2つの語根を同じ字でまとめる

* 選定理由: 「叮当(叮当)」という擬音もあるが、一文字「叮」でも鈴などが鳴る軽快音を連想できる。
* 学習コスト: sonor で既出のため追加学習コストゼロ。

### 19) krak ((ぱちぱち,かさかさ)音をたてる)

swift

Copy

krak/啪/「パッ」「パチッ」という破裂音に対応する擬音「啪」を採用/後述のklakとも統一

* 選定理由: 中国語で「啪」(pa)は拍手や弾ける音の擬音として頻出。
* 学習コスト: klakにも流用し、一文字化。

### 20) susur (さらさら鳴る)

swift

Copy

susur/沙/「沙沙」(シャーシャー、サラサラ)の音を連想し、「沙」を割り当て/後述のplaŭdにも統一利用

* 選定理由: 「沙」は本来「砂」だが、擬音「沙沙」は葉が触れる音や風の音など「さらさら」を示す。
* 学習コスト: plaŭd と同じくすることで新出漢字を減らす方針。

### 21) sibl (シューシュー音を立てる, ヒス音)

swift

Copy

sibl/嘶/「嘶」は「シーッ」「ヒーッ」等の強い呼気音(馬のいななき等)で使われる/やや画数多めだが通じやすい

* 選定理由: 「咝」などもあるが、ややマイナー。嘶(15画)は知名度が高く“ヒス音”を連想しやすい。
* 学習コスト: 単独使用で「ヒス音」と分かるため妥協採用。

### 22) ŝmac (チュッと音を立てる, キス音)

swift

Copy

ŝmac/啵/「啵」は軽いキス音や小さな破裂音「ポッ」「ボッ」を示す擬音/10画程度だが直感的

* 選定理由: 「啵啵」は“チュッ”“ポン”系の音を表し、唇の動き・キス音にも応用可能。
* 学習コスト: 単独の使用例は少ないが、“口”偏で唇音をイメージしやすい。

### 23) plaŭd (ばしゃりと音を立てる)

swift

Copy

plaŭd/沙/水しぶきの「ザッ」「バシャッ」を本来は「哗」(hua)等で表すが、susur同様「沙」を再利用

* 選定理由: 正確には「哗啦」などが水の飛沫音だが、学習コスト削減のため「susur=沙」と同一化。
* 学習コスト: 新しい漢字を増やさない優先で「沙」を二重割当。

### 24) klak (かちかち音をたてる)

bash

Copy

klak/啪/「カチッ」「カタッ」といった硬い小さな衝撃音を同じ「啪」で共用/krakと統一

* 選定理由: 本来は「咔」「咔嚓」なども考えられるが、krakと同じ「啪」で画数と種類を節約。
* 学習コスト: krak で既出、追加漢字なし。

### 25) raŭk (しわがれ声の)

swift

Copy

raŭk/哑/「哑」は「声がかれる/出ない」などを表し、「沙哑」で“しわがれ声”/一文字なら「哑」で対応

* 選定理由: 「沙哑」が典型だが、なるべく1文字に集約。喉が枯れたイメージは中国語で通じやすい。
* 学習コスト: 9画だが他に流用しづらいため単独採用。

### 26) flustr (ささやく)

swift

Copy

flustr/低声/「低声」は小声でささやくイメージ。「耳语」等よりも画数がやや少なくシンプル/「声」は既出

* 選定理由: 「耳语」(耳元で囁く)等もあるが、「声」再利用を重視して「低声」に集約。
* 学習コスト: 新出は「低」のみ(7画)。声は既出。

### 27) zum (ブンブン言う, ブーンという音)

swift

Copy

zum/嗡/「嗡」はハチなどの「ブーン」という継続的な低い振動音/13画だが他の近い簡字が少ない

* 選定理由: 中国語で虫やモーター音の「ブーン」「ヴーン」を「嗡嗡」と表す。単独「嗡」も通じる。
* 学習コスト: 画数は多めだが、最も代表的な擬音漢字として妥当。

muĝ

* + 吼
  + 「吼」は「ほえる・うなる・とどろく」の意を持ち、中国語で「怒吼(どこう)」などと組み合わせれば様々な“うなる・とどろく”ニュアンスを表せる。
  + 画数(7画)はそれほど多くなく、「口(くち)」偏を今後も転用しやすい。

1. amnesti
   * 大赦
   * 「大赦」は「amnesty(恩赦・大赦)」を直接表す熟語として日中双方で通じやすい。
   * 「大」は画数(3画)が少なく、非常に汎用性が高い。一方「赦」はやや画数多め(11画)だが、「大赦」という熟語全体で認知されやすいため採用。
2. venĝ
   * 复仇
   * 「复仇」は「復讐・仕返し」を意味する一般的な表現。日本語でも「復讐」の字は見慣れているため概念を把握しやすい。
   * 「复」(9画)は「回復」「重复(重複)」などでも使われる汎用性の高い字。「仇」(4画)も比較的単純。
3. kompens
   * 赔偿
   * 中国語で「賠償」といえば「補償・賠償」の最も標準的な表現。意味が分かりやすい。
   * 「赔」(8画)と「偿」(11画)はいずれも「贝(貝)」偏が含まれ、金銭的ニュアンス(賠償)が明確。やや画数多めだが、他で使われる可能性がある部首でもある。
4. konsol
   * 安慰
   * 「安慰」は「慰める・なぐさめる」の最も一般的な表現。
   * 「安」(6画)は頻出字で汎用性が高いが、「慰」(15画)はやや画数が多い。しかし「慰问(見舞う)」「抚慰(なぐさめる)」など関連表現にも転用可。
5. kompat
   * 同情
   * 「同情」は「同情する・哀れむ・気の毒に思う」の意味で現代中国語で非常に一般的。
   * 「同」(6画)「情」(11画)はいずれも他の感情関連語でも使われるため、学習コストの分散が期待できる。
6. pardon
   * 原谅
   * 「原谅」は「許す・勘弁する」の意味で広く使われる代表的な表現。日本語「原諒」(げんりょう)としても認知は可能。
   * 「原」(10画)「谅」(10画)ともやや画数はあるが、使いどころが多い単語なので許容範囲。
7. indulg
   * 宽容
   * 「宽容」は「寛大に許す・大目に見る・寛容である」を示し、“indulge” や “spare/lenient” の感覚を比較的よく表す。
   * 「宽」(9画)「容」(10画)はいずれも別の文脈(寛大さ、包容力など)で使いやすい。
8. kondolenc
   * 吊唁
   * 「吊唁」は「弔問する・お悔やみを述べる」の意味に近く、哀悼の念を伝える際の定番表現。
   * 「吊」(7画)「唁」(7画)はやや専門的だが、葬祭関連で固定表現として認知されやすい。
9. bedaŭr

* 遗憾
* 「遗憾」は「残念に思う・遺憾に感じる」という意味で広く使われる。
* 「遗」(7画)「憾」(12画)でやや画数は多いが、公式文書等でも頻出し、日中とも意味を把握しやすい。

1. pent

* 忏悔
* 「忏悔」は「罪や過ちを悔い改める」「懺悔」を意味し、宗教的・道徳的な「後悔」のニュアンスに合致。
* 「忏」(4画)「悔」(10画)はやや難度が高いが、概念としては分かりやすい。

1. domaĝ

* 可惜
* 「可惜」は「惜しい・残念だ・もったいない」というニュアンスを表し、「ああ、もったいない」「なんと残念」という感覚に近い。
* 「可」(5画)「惜」(11画)はいずれも常用字。「惜」は「爱惜(大切にする)」「惋惜(嘆き惜しむ)」などへも展開可能。

1. funebr

* 丧
* 「丧」一字で「喪・葬式・喪に服す」等を表す語根になり得る。たとえば「丧礼(葬儀)」「服丧(喪服を着る)」など。
* 画数(8画)は比較的少なく、「忄」などを含まない分シンプル。

1. sufer

* 受苦
* 「受苦」は「苦しみを受ける・苦難を味わう」の直訳的フレーズで、痛みや苦しみに耐える意味合いが強い。
* 「受」(5画)は汎用的。「苦」(8画)も感情や味(苦い)関連で頻出。

1. toler

* 忍
* 「忍」一字には「耐える・我慢する・堪える」の意があり、容忍(ようにん)・忍耐などにも拡張しやすい。
* 画数(7画)が比較的少なく、一字で十分ニュアンスを持つ。

1. plend

* 抱怨
* 「抱怨」は「不満をこぼす・ぐちる・文句を言う」の意味で、中国語では日常的に使われる。
* 既出の「抱」(8画)を再利用できるほか、「怨」(9画)も恨み系語彙で再利用可。

1. lament

* 悲叹
* 「悲叹」は「悲しんで嘆く、嘆き悲しむ」の意。「哀叹」とも表記されるが、「悲」は「悲伤」「悲痛」などでも頻用されるため汎用性が高い。
* 「悲」(9画)「叹」(5画)で合計14画。比較的シンプル。

1. kares

* 抚摸
* 「抚摸」は「優しくなでる・愛撫する・撫で回す」を意味し、身体に触れて“やさしく愛撫する”ニュアンスに合致。
* 「抚」(8画)「摸」(13画)はいずれも手偏でまとまっており、「手を使った動作」として認識しやすい。

1. dorlot

* 溺爱
* 「溺爱」は「甘やかす・溺愛する」の意で、子どもやペットなどを過度に可愛がるニュアンスを表すのに適切。
* 「溺」(13画)はやや画数が多いが、「爱」(10画)はすでに出ている可能性が高く、学習コストをやや抑えられる。

1. kis

* 吻
* 「吻」は名詞で「唇」の意味もあるが、動詞として「キスする」も表せる。
* 一字で「キス」を表し、画数(7画)もまずまず少なめ。

1. brak/um##

* 拥抱
* 「拥抱」は「抱擁・ハグする」の最も一般的な表現。
* 「抱」はすでに抱怨で出現済みなので再利用可。「拥」(8画)の追加はあるが、日常動作系として認識されやすい。

1. riverenc

* 鞠躬
* 「鞠躬」は「お辞儀をする・腰をかがめて礼をする」意の常用表現。
* 画数は多い(「鞠」15画前後＋「躬」10画前後)が、「bow/curtsy」を直接的に表す習慣的な言い回し。

1. salut

* 问候
* 「问候」は「挨拶する・ご機嫌伺いをする」という意味で、フォーマル/カジュアル双方に使いやすい。
* 「问」(6画)「候」(10画)はいずれも比較的頻度が高く、再利用可能性がある。

1. kompliment

* 恭维
* 「恭维」は「お世辞を言う・へりくだった褒め言葉を述べる」を意味し、“compliment” として分かりやすい。
* 「恭」(10画)は礼儀関連で使われることがあり、「维」(7画)も比較的よく出る部首(纟＋隹)を含む。

1. aplaŭd

* 拍手
* 「拍手」は文字通り「拍手する・手を叩く」動作を表し、日中ともに分かりやすい。
* 「拍」(8画)「手」(4画)はいずれもシンプルで他動詞(拍打、手段など)に転用可能。

1. aklam

* 欢呼
* 「欢呼」は「歓呼する・大いに声を上げて喜ぶ」という意味。イベントなどで「歓呼の声を上げる」といった場面に合う。
* 「欢」(6画)は“喜び”を表す要素として他単語にも転用可。「呼」(8画)は声に関連する動詞で利用しやすい。

1. ador

* 崇拜
* 「崇拜」は「崇拝する・敬う」という意味で、「神やアイドルを崇める」など幅広く使われる。
* 「崇」(11画)「拜」(9画)はやや画数が多いが、信仰・礼拝関連語として定着しているため分かりやすい。

laŭd ****/**** 赞 ****/****選定理由****: 「称赞」「赞扬」などに通じ、日本語の「賛(賛成・賞賛)」とも結びつきやすい。意味面でも「ほめる」に対応しやすい。****学習コスト****: 「贝」偏旁(貝へん)は頻出偏旁の一つで、他の複数語根にも転用しやすい。****

1. admir / 敬 /  
   　選定理由: 「敬う・敬服する」の語感が「感嘆する」「崇敬する」に近く、中国語でも「尊敬」「敬佩」など「admire」に近いニュアンスを表せる。  
   　学習コスト: 「苟(句)」+「攵(のぶん)」の組み合わせだが、「敬」は日中双方で比較的よく見かける常用字。
2. frand / 馋 /  
   　選定理由: 「馋(饞)」は「美味しいものをむやみに食べたがる・舌鼓を打つ」といった含意があり、「美食を楽しむ」「ごちそうをむさぼる」ようなニュアンスに近い。  
   　学習コスト: 「食(しょく)」へんを含むため「食」「饮」「饱」など他の食関連漢字と関連づけて学びやすい。日本語ではやや馴染み薄い簡体字だが、意味は連想しやすい。
3. gust/um## / 味 /  
   　選定理由: 「味」は「味わう・味(あじ)」の両方をカバーし、中国語でも「味道(味わい)」として最も直接的に「味」を示す常用字。  
   　学習コスト: 画数も少なく、「口(くち)」へんは汎用性が高い。
4. flat / 谄 /  
   　選定理由: 「谄(諂)」は「こびへつらう」「おだてる」の意があり、意味がストレートに「flatter」に対応する。  
   　学習コスト: やや使用頻度は低いが、字形は「讠(言)」+「欠」で構成され、他の言偏の漢字学習と併せて覚えられる。
5. tikl / 挠 /  
   　選定理由: 単独1文字で「くすぐる」に完全一致する漢字は少ないため、ここでは「挠(撓)」を“くすぐる・痒い所をかく”の近いイメージとして採用。日常的には「挠痒(挠痒痒)」などの熟語として使われる。  
   　学習コスト: 「扌(手)」へんを含む常用字。やや意味の幅は広いが、ほかの動作系語根に派生利用も考えられる。
6. rav / 迷 /  
   　選定理由: 「迷」は「迷う・心を奪われる・魅了される」を意味し、「うっとりする」「狂喜する」「陶酔する」に近い感覚を表せる。  
   　学習コスト: 画数が少なく「辶(しんにょう)」も頻出偏旁。応用範囲が広い。
7. amuz / 娱 /  
   　選定理由: 「娱(娯)」は「娱乐(娯楽)」「娱乐节目(娯楽番組)」など「楽しませる・楽しむ」の文脈で使われる。  
   　学習コスト: 日中ともに「娯」の旧字と対応しやすく、「女」偏も基礎的。
8. ĝu / 乐 /  
   　選定理由: 「乐(樂)」は「たのしむ・たのしい」を示す代表的な常用字で、中国語でも「享乐(享楽)」「快乐(快楽)」など「楽しむ」のニュアンスを担う。  
   　学習コスト: 画数少なめ、日中ともに「音楽」や「娯楽」などでなじみ深い。
9. regal / 请 /  
   　選定理由: 中国語の「请客(ごちそうする/おごる)」に近い動詞イメージ。「人を招く・もてなす」の意味合いを単字で表すには「请」が便利。  
   　学習コスト: 「讠(言)」へん使用。すでに「谄」などで言偏は出現。
10. fest / 庆 /  
    　選定理由: 「庆(慶)」は「祝う・めでたい」という意味の代表的な漢字で、「庆祝(慶祝)」はまさに「(を)祝う」に対応する。  
    　学習コスト: 画数が少なく、日本語の「慶」にも通じる。
11. festen / 宴 /  
    　選定理由: 「宴」は「宴会」「酒宴」など「ごちそうを振る舞う集まり」を指す単字。動詞としてはやや古風だが「開宴(宴を開く)」の形もある。  
    　学習コスト: 「宀(うかんむり)」+「女」の組み合わせで比較的わかりやすい。
12. ovaci / 拍手 /  
    　選定理由: 大喝采・大きな拍手を表すには「拍手」が最もシンプルで分かりやすい。「鼓掌」もあるが画数が多めなので「拍手」を優先。  
    　学習コスト: 「拍(扌+白)」「手」の二字。どちらも初級漢字に近く、学びやすい。
13. hura / 呼 /  
    　選定理由: 万歳・歓呼・エールなどの「わーっと声をあげる」イメージに「呼」が近い(「呼喊/呼叫」=大声で呼ぶ)。  
    　学習コスト: 「口」偏活用例。単字でも「呼ぶ」「叫ぶ」などの意味で汎用性が高い。
14. ben / 祝 /  
    　選定理由: 「祝」は「祝う」「祈る」「祝福する」の意。ベースに「神への祈りを捧げる」イメージもあり、「(を)祝福する」に適合。  
    　学習コスト: 「礻(しめすへん)」はほかの祭祀系漢字とも共通しやすい。
15. gratul / 贺 /  
    　選定理由: 「贺(賀)」は「お祝いを言う」「祝賀」などに頻用される。英語の “congratulate” に相当。  
    　学習コスト: 「贺」は「贝(貝)」+「加」の組み合わせで、「赞」と同じ貝偏を再利用できる。
16. agac / 烦 /  
    　選定理由: 「烦(煩)」は「いらだたせる・うるさがらせる」という感覚。歯が浮くような不快感/イライラ感を与えるイメージに近い。  
    　学習コスト: 「火」偏(旧字は「火+頁」)だが、中国語初級～中級程度で習う頻出字。
17. agoni / 垂死 /  
    　選定理由: 1文字対応が難しいため、2文字熟語「垂死(しすい)」=「死の間際」「今にも死にそうな状態」として表現。  
    　学習コスト: 「垂」「死」ともに基礎的な字で、他語根(例えば「死」関連)にも流用しやすい。
18. dolor / 痛 /  
    　選定理由: 「痛」は「痛み」「苦痛」の最も一般的な単字。日本語の「痛い」とほぼ同じ感覚。  
    　学習コスト: 画数も少なく、「疒(やまいだれ)」よりはシンプル。汎用性大。
19. ĥoler / 霍乱 /  
    　選定理由: 中国語でコレラは「霍乱」が一般的な表記(医療用語)。1文字での対応が存在しないため2文字熟語を使用。  
    　学習コスト: やや画数は多いが、医療・疾病ジャンル以外では頻出しないので割り切って採用。
20. rabi / 狂犬病 /  
    　選定理由: 中国語で狂犬病は「狂犬病」が標準。こちらも1文字対応なし。  
    　学習コスト: 「狂」「犬」「病」はどれも常用字であり、他の語根(「狂(狂う)」「犬(イヌ)」「病(やまい)」)とも関連づけやすい。
21. histeri / 歇斯底里 /  
    　選定理由: 「ヒステリー」の中国語訳としては「歇斯底里」がもっとも一般的(ほぼ音訳)。専門的には「癔症」もあるが画数が多い。  
    　学習コスト: 4文字だが医療用語ということで割り切る。日常頻度は高くない。
22. radikal / 激进 /  
    　選定理由: 政治・思想上の「ラジカル」「急進的」にあたる標準訳が「激进」。1文字で「激」や「猛」等もあるが、2文字のほうが正確。  
    　学習コスト: 「激」「进」はどちらも比較的常用。すでに「进(進)」は学習場面でも頻出。
23. akr / 尖 /  
    　選定理由: 「尖」は「尖った・鋭い」の意味を端的に示し、「鋭利」「尖锐(尖銳)」などにも使う。  
    　学習コスト: 画数は少なめ。「小+大」で構成され覚えやすい。
24. akut / 尖角 /  
    　選定理由: エスペラント説明では「鋭角の…」というニュアンスなので「尖角(= 鋭角)」とした。単字「尖」だけでは「鋭角」を明示できないため2字熟語を優先。  
    　学習コスト: 「尖」は既出、そこに「角」を付け足すのみ。追加分「角」も初級漢字で学習しやすい。
25. serioz / 严 /  
    　選定理由: 「严(厳)」は「まじめな・厳粛な・重大な」というニュアンスを含む(「严肃」=まじめ・厳粛)。  
    　学習コスト: 同じ「严」を別語根で流用しても、後で上付き文字などで区別予定。
26. sever / 严 /  
    　選定理由: 「严(厳)」は「厳しい・手厳しい・過酷な」を指し、「severe」の感覚に合う。上記seriozと同じ字を再利用して学習コストを抑える。  
    　学習コスト: 同じく「严」の再利用。語根「serioz」との区別は上付き文字等で対応予定。

rigor

* + 提案: 严
  + 理由: 「厳格」「严格」の核心を表す簡体字。日本語「厳(げん)」にも近く、両言語の学習者にとって意味を連想しやすい。
  + 学習コスト: 画数は7画程度。頻出漢字であり、他の「厳しい」系の語根にも流用しやすい。

1. sarkasm
   * 提案: 讽刺
   * 理由: 「讽刺」は「皮肉」「辛辣な風刺」を表す最も一般的な簡体字熟語。日本語「諷刺」とほぼ同形で、意味が掴みやすい。
   * 学習コスト: 2文字熟語だが、どちらも比較的頻出。「讽(諷)」+「刺」なので、日本語話者も類推しやすい。
2. kruel
   * 提案: 残
   * 理由: 「残酷」「残忍」などの「残」に対応。日本語でも「残酷」と書くので意味を取りやすい。
   * 学習コスト: 単独字は10画だが、非常に頻度が高く、他にも「残～」の派生語に流用しやすい。
3. amar
   * 提案: 苦
   * 理由: 「苦い」「苦痛」など、苦味や苦しさに直結する基本漢字。
   * 学習コスト: 8画で比較的覚えやすく、日中双方にとって馴染みが深い。
4. diskret
   * 提案: 慎
   * 理由: 「慎重」「謹慎」「谨慎(jǐnshèn)」の「慎」。口が堅く慎み深いニュアンスを伝えやすい。
   * 学習コスト: 13画とやや多めだが、意味の連想は容易。日本語・中国語双方で馴染みあり。
5. obtuz
   * 提案: 钝
   * 理由: 「鈍」の簡体字。刃物などが鋭くない「鈍い」、比喩的に「頭の回転が遅い」などにも通じる。
   * 学習コスト: 7画。日本語の「鈍」に対応するので意味が想像しやすい。
6. impertinent
   * 提案: 无礼
   * 理由: 文字通り「礼がない＝無礼」で「失礼」「厚かましい」といったニュアンスをカバー。
   * 学習コスト: 2文字だが、いずれも頻出かつ画数は多くない（无4画＋礼5画）。
7. sakr
   * 提案: 未対応
   * 理由: 原義が解剖学用語の「仙骨(sacrum)」であり、簡体字では「骶骨(dǐgǔ)」。画数が多く非常に専門的なため割当を見送り。
   * 学習コスト: 対応見送り。
8. fanfaron
   * 提案: 夸
   * 理由: 「誇」の簡体字。「夸大」(誇張)などに通じ、「大言壮語する」「自慢する」のニュアンスを表しやすい。
   * 学習コスト: 6画ほどで比較的簡単。日本語の「誇」と近いため、意味推測もしやすい。
9. klaĉ

* 提案: 闲话
* 理由: 「闲(閑)な話＝雑談・うわさ話」を表す熟語。日本語の「閑話休題」などから連想可能。
* 学習コスト: 2文字だが「闲(7画) + 话(8画)」。日常的表現で学習価値は高い。

1. bru

* 提案: 吵闹
* 理由: 「やかましい」「騒音を出す」というニュアンスに最も直截な表現。「吵」(うるさい)＋「闹」(騒ぐ)。
* 学習コスト: 2文字・合計画数はやや多いが、それぞれ中国語では日常的。

1. tumult

* 提案: 骚动
* 理由: 「騷動」の簡体字表記。「騒乱」や「混乱」など大きめの騒動を表すときに通用する。
* 学習コスト: 2文字だが、中国語でよく使われる熟語。

1. distr

* 提案: 消遣
* 理由: 「気を散らす」「気晴らしをする」「暇つぶしをする」の意味がまとまっている熟語。
* 学習コスト: 2文字で計20画ほどだが、比較的ポピュラーな表現。

1. sufok

* 提案: 闷
* 理由: 「息苦しい・蒸し暑い・閉塞感がある」といった意味で「窒息しそう」「闷死」のニュアンスが含まれる。
* 学習コスト: 7画と少なめ。単字で「息苦しさ」を伝えやすい。

1. naŭz

* 提案: 恶心
* 理由: 「気持ち悪い」「吐き気を催す」という意味では「恶心(ěxīn)」がもっとも通用度が高い。
* 学習コスト: 2文字だが「恶(悪)」「心」の組み合わせは学びやすく、日本語話者も直感的に理解しやすい。

1. ted

* 提案: 厌
* 理由: 「飽きる」「うんざりする」「嫌になる」を表す。「厭(いや)」と同源で日本語にも近い。
* 学習コスト: 7画で比較的シンプル。派生表現（厌烦、厌恶 など）にもつなげやすい。

1. ĉagren

* 提案: 烦
* 理由: 「煩わす」「煩悩」などの中心要素。人をいら立たせたり悩ませたりするニュアンスを担う。
* 学習コスト: 10画だが「烦恼」「麻烦」など頻出語が多く、学ぶ価値は高い。

1. haladz

* 提案: 臭
* 理由: 「臭い」「悪臭」「くさいにおい」に直接対応する基本字。
* 学習コスト: 10画。日本語・中国語とも「ニオイが悪い」という即物的な意味として共通。

1. furioz

* 提案: 怒
* 理由: 「激しい怒り」「怒り狂う」ニュアンスを最もストレートに示せる。「怒り狂う＝大怒」も可。
* 学習コスト: 9画。「怒」は「怒る」「愤怒」などにも繋がり、派生させやすい。

1. koler

* 提案: 怒
* 理由: 「怒っている」ときの基本表現。すでに furioz と同字を使い回して学習コスト削減。
* 学習コスト: 再利用により負担減。上付き文字等で差別化予定。

1. indign

* 提案: 怒
* 理由: 「激怒」「憤慨」も広義で「怒」の範囲に含めて再利用。
* 学習コスト: 同字三度目の使い回しで、学習コストを大幅に圧縮。

1. ofend

* 提案: 侮
* 理由: 「侮辱」「軽視」の意味を含む単字。相手を侮る＝offendするイメージに合致。
* 学習コスト: 9画。比較的コンパクトで、「侮辱」など他の語とも関連性が高い。

1. blasfem

* 提案: 亵渎
* 理由: 宗教的・神聖なものへの「冒涜」「亵渎」として標準的な表現。
* 学習コスト: 2文字あわせてやや画数多めだが、専門用語としてはこれが最も一般的。

1. kalumni

* 提案: 诽谤
* 理由: 「誹謗(ひぼう)」に相当。日本語「誹謗中傷」からも意が取りやすい。
* 学習コスト: 2文字で17画ほど。中国語として日常的な表現。

1. riproĉ

* 提案: 责
* 理由: 「責める」「責任を問う」等に使われる簡体字。日本語「責(せめる)」に通じる。
* 学習コスト: 8画でシンプル。今後「责备」「负责」などにも発展可能。

1. mok

* 提案: 讥
* 理由: 「讥笑」「讽刺」など「嘲弄・からかい」を示す常用字。
* 学習コスト: 5画で非常に少なく、「讠(言偏)」を再利用。

1. insult

* 提案: 侮
* 理由: 「侮」単独だと「軽んじる」「見下す」寄りだが、「insult」「ofend」との共通範囲が大きい。ofend で用いたものを再利用し、学習コスト削減。
* 学習コスト: 同字再利用で新出なし。

abomen

* + 提案: 「厌」
  + 理由: 中国語「厌恶(讨厌)」で「嫌う・憎む」の意味を持つ。日本語でも「厭う」「倦む(あぐむ)」の形で「嫌がる」ニュアンスがあるため，両言語圏で「嫌悪」「忌避」のイメージを比較的共有しやすい。
  + 学習コスト: 画数はさほど多くなく(「厭」自体はやや画が多めにも見えますが，簡体字「厌」は7～8画程度)，また感情表現系で汎用性が高い部首(「厂」「犬」など)なので，他の単語にも流用されうる。

1. ĵaluz
   * 提案: 「嫉」
   * 理由: 中国語「嫉妒」(嫉妬)の「嫉」。日本語でも「嫉妬」「嫉む」(そねむ)として使われ，嫉妬・ジェラシーを連想しやすい。
   * 学習コスト: 「女」偏を含む感情表現の漢字(後述の「妒」など)と部首を共有するため，ある程度学習転用が見込める。
2. envi
   * 提案: 「羡」
   * 理由: 中国語「羡慕」(うらやむ)の「羡」。日本語の「羨ましい」にも通じる(日本語では「羨」の異体形)。
   * 学習コスト: そこまで多画ではなく，感情を表す常用漢字としてある程度認知されている。「嫉」(ĵaluz)との使い分けで，嫉妬(相手を憎むような強い感情)と羨望(単にうらやましい)を区別しやすい。
3. fajl
   * 提案: 「磨」
   * 理由: 本来「やすりをかける」は「锉(銼)」が直訳だが，画数が多め・頻度低めのため，ここでは「磨(みがく/とぐ)」を使い回すことにする。中国語でも「打磨」(やすり・研磨)という表現があり，意味のつながりは悪くない。
   * 学習コスト: 下記のmuel(挽く)，pist(つく)とも共通で「粉砕・研磨・すり潰し」系は「磨」で一括してしまう方が漢字の種類を減らせる。
4. torn
   * 提案: 「旋」
   * 理由: 旋回・回転の「旋」。機械加工の「車削(旋削)」は2文字「车削/車削」とも書けるが，\*\*単独なら「旋」\*\*が比較的シンプル。
   * 学習コスト: 「旋」は日本語でも「旋回」「斉旋」などで見かけるため認知度はまずまず。部首は「方」に似た形(族)で，さほど複雑ではない。
5. glad
   * 提案: 「烫」
   * 理由: 中国語で「烫衣服」=アイロンをかける，の「烫」(熱する・火で炙る)。本来「熨」の方が「アイロンがけ」専用だが画数が多くややマイナー。
   * 学習コスト: 後述のbrog(熱湯をかける)やfriz(パーマをかける)とも動詞的に近い意味を共有し，まとめて「烫」で使い回すことで，学習コストを下げる狙い。
6. drapir
   * 提案: 「披」
   * 理由: 「披」は「肩に掛ける」「布をはおる」などの意味があり，中国語でも「披上衣服」などで「布をかける」ニュアンスが通じる。「盖」(覆う)も考えられるが，「披」はより「布を掛ける」感が強い。
   * 学習コスト: 「披露」など日本語でも比較的なじみがあり，「扌」(手)＋「皮」の組み合わせで覚えやすい。
7. kov
   * 提案: 「孵」
   * 理由: 「卵を抱く・かえす」は中国語では「孵化」の「孵」が定番。日本語でも「孵化」で通じる。
   * 学習コスト: 画数は7～8画程度で，そこまで多くない。「子(孑)」の部首がやや注意だが，イメージしやすい。
8. jung
   * 提案: 「驾」
   * 理由: 「馬に馬具をつなぐ・車を駆る」は中国語で「驾(駕)」，「驾驭」などが該当。「套」も候補だが，「驾」の方が「馬につなぐ」イメージが強い。
   * 学習コスト: 簡体字「驾」は7画程度と比較的シンプル。日本語の「駕」(旧字体)よりだいぶ画数が減っている。
9. strigl
   * 提案: 「刷」
   * 理由: 馬の手入れ(馬体をブラシで掃く)は中国語で「刷马」。カリー(櫛)コームで梳くイメージだが，実際にはブラシでこするニュアンスが強い。「梳」でもよいが，「梳」は後述のkombに回した方が自然。
   * 学習コスト: 「刷」は日本語の「印刷」「歯刷(はみが)き」などでもおなじみ。画数も8画と少ない。
10. friz
    * 提案: 「烫」
    * 理由: パーマをかけるイメージが強いなら中国語では「烫发」と表現。すでにglad(アイロンをかける)，brog(熱湯をかける)と同じ「烫」にまとめることで，熱を使って髪に処理を施す一連の動作を共通化できる。
    * 学習コスト: 同じ「烫」を使い回すため，習得する漢字の種類を削減。
11. komb
    * 提案: 「梳」
    * 理由: 「梳」(梳頭)は「櫛ですく」ことを表す漢字で，中国語でも「梳头发」，日本語でも「梳る(とく)」の古い表記がある。
    * 学習コスト: やや画数は多い(「疏」部分を含む)が，単純に「梳 = 櫛で髪をとかす」のイメージがつきやすい。
12. raz
    * 提案: 「剃」
    * 理由: 「毛を剃る」＝中国語でも「剃毛」「剃须」，日本語でも「剃る」。意味が直截で分かりやすい。
    * 学習コスト: 「刀」偏+「弟」の組み合わせで画数9程度。比較的シンプルで認知度も高い。
13. bala
    * 提案: 「扫」
    * 理由: 「掃除する」を意味する簡体字「扫」(日本語の「掃」に相当)。箒でゴミを掃き集めるイメージに合致。
    * 学習コスト: 「扌」(手)＋「彐(ケイ)」構造でそこまで難しくない。日本語の「掃」とほぼ同形。
14. viŝ
    * 提案: 「拭」
    * 理由: 「拭く」「拭き取る」の意味。中国語では「擦」や「抹」も類義だが，「擦」は画数17と多めなので，やや簡潔な「拭」を提案。
    * 学習コスト: 日本語にも「拭く」があるため連想しやすい。画数9前後。
15. lav
    * 提案: 「洗」
    * 理由: 「洗う」は中国語も日本語も同形「洗」。最も基本的な動作の一つ。
    * 学習コスト: ごく初歩的な常用漢字で画数も比較的少ない。
16. gargar
    * 提案: 「漱」
    * 理由: 中国語で「漱口」=「うがいをする」。日本語でも「含嗽(がんそう)」という熟語があり，「漱」は「すすぐ」「うがいする」の意。
    * 学習コスト: 「さんずい」＋「兎」系の形で14画ほど。少し多めだが「うがい」を正確に表す単字はほぼこれ一択。
17. seg
    * 提案: 「锯」
    * 理由: 鋸(ノコギリ)・鋸引きは簡体字で「锯」。日本語の「鋸」に近い。
    * 学習コスト: 「金属(钅)＋居」で14画前後。やや画は多いが道具名としては仕方なし。
18. ŝovel
    * 提案: 「铲」
    * 理由: シャベルで土や雪を「すくう」は中国語で「铲(鏟)」，「铲雪」「铲土」のように使われる。
    * 学習コスト: 「钅(金)＋产」の組み合わせ(10画程度)。道具系漢字としては比較的わかりやすい。
19. rast
    * 提案: 「耙」
    * 理由: 「熊手・レーキでかき集める」は中国語で「耙(をかける)」，動詞・名詞兼用(「耙子」は熊手)。
    * 学習コスト: 「耒(すき)」＋「巴」の組み合わせで10画前後。農具としての連想はしやすい。
20. muel
    * 提案: 「磨」
    * 理由: 「穀物などを粉に挽く」は「磨く・粉にする」のニュアンス。上記のfajl(ヤスリがけ)などとも同じ「磨」でまとめ，研磨・粉砕系の動詞を一括化。
    * 学習コスト: すでに出た「磨」を再利用することで漢字の種類を減らす。
21. pist
    * 提案: 「磨」
    * 理由: 「つく」「潰す」「粉状にする」動作も広義には「磨く」の一種とみなし，fajl，muel同様に「磨」で共通化。中国語でも「捣碎」「碾碎」など類語はあるが，敢えて同一文字に。
    * 学習コスト: 上記と同じく「磨」を再利用。
22. tan
    * 提案: 「制革」
      + ※一字「鞣」(なめす)が正確だが画数15前後で低頻度。代わりに「制革」(革を加工する)で2文字熟語にして，より頻度の高い「制」「革」の組み合わせに。

* 理由: 「皮をなめす」=「皮革を加工する」という意味合いで妥協策。
* 学習コスト: 「制」(8画)＋「革」(9画) = 計17画ほどだが，「制」や「革」は他の文脈(制度/改革など)でも比較的出現頻度が高く，学習優先度がまだ高め。

1. brog
   * 提案: 「烫」
   * 理由: 「熱湯をかける/湯通しする」も広く言えば「烫」(熱で処理する)の一種と捉えられる。既にglad(アイロンがけ)やfriz(パーマ)と共通。
   * 学習コスト: 同じ「烫」で統一することにより新規漢字を増やさない。
2. tond
   * 提案: 「剪」
   * 理由: 「羊毛を刈る」「髪を切る」=「剪(ハサミで刈り取る)」。中国語「剪羊毛」「剪头发」。
   * 学習コスト: 「前後を切る」などで使用頻度は高い。画数は9画。
3. falĉ
   * 提案: 「割」
   * 理由: 農作業で「草を刈る，穀物を刈る」=中国語「割草」「割麦」。日本語でも「割る・刈る」ニュアンスが近い。
   * 学習コスト: 9画程度であり，日本語でも使用頻度が高い常用漢字。
4. tajl
   * 提案: 「裁」
   * 理由: 服を裁断する = 中国語でも「裁剪服装」，日本語でも「裁つ」。
   * 学習コスト: 12画ほどだが，「裁判」「裁量」などでも出てくるため一般的。

sekc

* + 提案: 剖
  + 理由: 「切開・解剖」の意味を直接表す常用字。「剖検(解剖)」などで用いられる。
  + 学習コスト: 画数10。日本語・中国語とも「解剖」の語に含まれ馴染みがあり、用途が限定的な割に意味が明確。

1. tranĉ
   * 提案: 切
   * 理由: 一般的に「切る」という意味を最も端的に表す簡体字。「切断」「切开」など幅広く使われる。
   * 学習コスト: 画数4。頻度も高く、日本人にも直感的に伝わりやすい。
2. hak
   * 提案: 砍
   * 理由: 「たたき切る」「勢いよく切り落とす」というニュアンスを表す標準的な簡体字。
   * 学習コスト: 画数7。中国語で「砍」は非常に一般的な動詞であるが、日本語圏ではやや見慣れない可能性あり。ただし「石＋欠」の組み合わせで覚えやすい部類。
3. kuir
   * 提案: 煮
   * 理由: 「料理する」全般を一字で表すのは難しいが、「煮」は「火＋者(音の部分)」であり、日中ともに「料理」の連想がしやすい。
   * 学習コスト: 画数8。本来は「煮る」だが、他の調理法と区別をつけるため暫定的に割当。
4. frit
   * 提案: 炸
   * 理由: 油で「揚げる(フライにする)」意味を単字で表す代表的な簡体字。「油炸」「炸鸡」などの形で頻出。
   * 学習コスト: 画数8。日本語話者にはややなじみが薄いが、「火＋乍」という構造で覚えやすい。
5. bak
   * 提案: 烤
   * 理由: オーブンや直火で「焼く」「あぶる」意味を広くカバー。中国語では「烤面包(パンを焼く)」「烤肉(肉を焼く)」等で頻用。
   * 学習コスト: 画数10。日本語の「焼」に近いイメージを持ちやすい。
6. rost
   * 提案: 烤
   * 理由: 「あぶる」「ローストする」「トーストする」など、実際に中国語では「烤」で広範に表現できるため、bak と同一字を再利用。
   * 学習コスト: 同上(画数10)。単一漢字を使い回すことで種類削減。
7. tajp
   * 提案: 打字
   * 理由: 中国語の「タイプする」は「打字」が一般的。「打」単体だと「叩く」など多義だが、「打字」で確実に「タイプ入力」の意味。
   * 学習コスト: 2文字(5画＋6画=計11画)。いずれも頻出字なので習得しやすい。
8. kompost
   * 提案: 排字
   * 理由: 「植字(古い印刷用語)」より、「排字」のほうが比較的一般的で分かりやすい。
   * 学習コスト: 2文字(排11画＋字6画=17画)。すでに「字」を「tajp=打字」で使用しておりシナジーあり。
9. skrib
   * 提案: 写
   * 理由: 現代中国語で「書く」は「写」が最も直接的。日本語では「写=うつす」だが、漢字の見た目から「書く行為」も類推しやすい。
   * 学習コスト: 画数5。頻出字であり、視覚的にも簡単。
10. stenograf
    * 提案: 速记
    * 理由: 中国語で「速记」は「速記(法)」「速記者」として一般的。
    * 学習コスト: 2文字(速10画＋记5画=15画)。いずれも使用頻度の高い字。
11. projekci
    * 提案: 投影
    * 理由: 「投影」は光学・幾何学的な「映写」「プロジェクション」に最も相当する標準的表現。
    * 学習コスト: 2文字(投7画＋影15画=22画)。やや多いが意味が明確。
12. desegn
    * 提案: 画
    * 理由: 中国語で「画」は「絵」「描く」の動詞としても通用し、日中ともに「描画」のニュアンスがわかりやすい。
    * 学習コスト: 画数8。単字で「えがく」を連想しやすい。
13. skiz
    * 提案: 素描
    * 理由: 「スケッチ、下絵」の意味で中国語では「素描」が一般的。日本語でも「素描」は通じる。
    * 学習コスト: 2文字(素10画＋描5画=15画)。やや画数はあるが内容は明確。
14. ilustr
    * 提案: 插图
    * 理由: 挿絵の意味として中国語で広く使われる表現が「插图」。雑誌・書籍の「イラスト挿入」を示す。
    * 学習コスト: 2文字(插10画＋图8画=18画)。やや多めだが用例豊富。
15. brod
    * 提案: 绣
    * 理由: 「刺繍」を指す簡体字は「绣」(伝統形：繡)。日本語「刺繍」に対応する主要要素を単字で表す。
    * 学習コスト: 画数10。用途が限定されるが、概念がはっきりしている。
16. gravur
    * 提案: 刻
    * 理由: 「彫り込む」「刻む」という意味を最もシンプルに示す。日本語「彫刻」「時刻」の「刻」。
    * 学習コスト: 画数8。広く使われる字で、比較的覚えやすい。
17. tatu
    * 提案: 纹身
    * 理由: 中国語では「タトゥー」を「纹身」と言うのが一般的。
    * 学習コスト: 2文字(纹7画＋身7画=14画)。単字では表せないので熟語を採用。
18. skulpt
    * 提案: 雕
    * 理由: 「彫刻する」「彫塑する」の意味で単独でも使われる。「雕刻」だと2文字になるが、核心の「雕」を採用。
    * 学習コスト: 画数11。日本語「彫刻」と合わせて覚えられる。
19. ĉiz
    * 提案: 刻
    * 理由: 「ノミで彫る」「刻む」。すでに gravur に「刻」を割り当てており、同じ字を再利用して学習負担を軽減。
    * 学習コスト: 画数8(再利用)。意味は若干異なるが、上付き文字等で区別する前提。
20. ŝmir
    * 提案: 涂
    * 理由: 「塗る」「塗布する」を表す簡体字として一般的。日本の「塗」とほぼ同義。
    * 学習コスト: 画数10。比較的頻度高めの字。
21. lubrik
    * 提案: 润滑
    * 理由: 「潤滑する」「油を差す」は中国語では「润滑」が定番。「上油」等は少し別のニュアンス。
    * 学習コスト: 2文字(润10画＋滑12画=22画)。やや多いが正確性重視。
22. dron
    * 提案: 溺
    * 理由: 「溺れる」「おぼれる」。中国語「溺水」「溺亡」等で使われ、意味がはっきりしている。
    * 学習コスト: 画数13。日本語「溺れる」でも同字を用いるため、イメージしやすい。
23. inund
    * 提案: 淹没
    * 理由: 「浸水する」「氾濫して水没させる」。中国語で「洪水・水没」を端的に示す標準表現。
    * 学習コスト: 2文字(淹11画＋没7画=18画)。やや多めだが汎用的。
24. diboĉ
    * 提案: 放荡
    * 理由: 「酒や色にふける」「放蕩・放縦」を表す語として一般的。
    * 学習コスト: 2文字(放8画＋荡9画=17画)。日本語話者には若干難しいが、中国語では「放荡不羁」などで頻出。
25. ferment
    * 提案: 发酵
    * 理由: 「発酵する」を表す際の代表的表現。中国語で「酵」は単独動詞としては使いにくい。
    * 学習コスト: 2文字(发5画＋酵14画=19画)。用途がはっきりしている。
26. bol
    * 提案: 沸
    * 理由: 「沸騰する」を直接表す簡体字。「沸腾」という熟語が日常的。
    * 学習コスト: 画数8。日本語「沸(わく)」と共通し、連想しやすい。

fand ****/**** 熔 ****/ 熔は「(金属などを)溶かす・溶融する」の意が強く、「冶炼」に近い / 画数はやや多めだが、「溶」や「融」に比べ金属の溶解を連想しやすい****

1. degel / 融 / 「融化」(融ける)に由来。氷雪の解けるイメージに合致 / 画数は多いが「融」は日中で「とける」感を連想しやすい
2. civiliz / 教化 / 「教え導いて文明化する」「教化する」の語感が近い / 2文字熟語だが、「教」「化」それぞれ既習漢字として他にも転用されやすい
3. edif / 教化 / 「道徳的・宗教的に教え導く」ニュアンスが近い / 上記(3)と同じ熟語を使い回すことで学習コスト削減
4. ilumin / 照 / 「照らす」「照明する」の中心的意味を含む / 単独1文字で「照らす」意を伝えやすく、画数(13画)も許容範囲
5. rivel / 显 / 「显露(現れる・現す)」「显示(表示する)」など“あらわにする・発現する”の意味 / 簡体字で9画と比較的少なく、写真の「显影」にも使われる
6. infuz / 注 / 「注入する」「注ぐ」の意味を連想しやすい / 画数8画と比較的少なく、日中ともに「注入」「注ぎ込む」などの派生が多い
7. ventol / 通风 / 「(空気を)通して換気する」の意味が明確 / 単字で「风」(風)にすると曖昧なので、2文字熟語で分かりやすさ優先
8. filtr / 滤 / 「过滤(ろ過)」の中心漢字。単体で「滤(=濾)」は“こす・ろ過する”ニュアンス / 10画だが、ろ過専用としては分かりやすい
9. rafin / 炼 / 「精炼(精製・精錬)」のイメージで、金属・化学など“精製”全般に転用可能 / 単字9画(「火+东」)で比較的シンプル
10. kaŭteriz / 灼 / 「焼く・焼き焦がす」意味が中心。「灼伤(やけど)」「灼热(灼熱)」など / 7画で「灼」は“熱で焼く”感が強い
11. satur / 饱和 / 化学用語「飽和」をそのまま表す。 / 2文字熟語だが、中国語で「飽和」は頻出語彙
12. distil / 蒸馏 / 「蒸留」の既成熟語。 / 専門用語として一目で分かり、化学分野の学習に適する
13. el/turn/iĝ## / 闪 / 「身をかわす・ひらりと避ける」のイメージに近い(“闪避”) / 5画と少なく、回避・瞬間的な動作を連想しやすい
14. ĵongl / 耍 / 「耍杂技(雑技・曲芸)」「耍把戏(手品を使う)」などの語感 / 「耍」は“遊び・手練手管”のニュアンスが強く、軽業・雑技にも通じる
15. forĝ / 锻 / 「锻造」(鍛造)の中心字。 / 単独で“金属を鍛える”イメージがわかりやすい
16. skerm / 击剑 / フェンシング競技の正式な中国語表現 / 2文字熟語だが、スポーツ名として定着
17. met / 放 / 「置く・放す・放置」の基本的な動きに近い / 8画と比較的少なく、日中で用例も多い
18. munt / 组装 / 「(機械などを)組立・組み付けする」の意味が明確 / 2文字熟語だが部品の「組立」動作を想起しやすい
19. instal / 安装 / 機械・ソフトウェアなど「インストール」を表す標準的表現 / 「安」と「装」は他の語にも応用されやすい
20. insid / 陷阱 / 「落とし穴」「わな」の意味が明確 / 2文字熟語だが、陰謀や罠というニュアンスが一目瞭然
21. rembur / 填 / 「詰める・埋める」「填充(詰め物する)」の中心語 / 13画だが「塞」よりは画数が少なく用途もわかりやすい
22. flik / 补 / 「補う・修補する」ニュアンス。縫い当て(継ぎ)にも合う / 7画と少なく、頻度も高い字
23. lut / 焊 / 「溶接」「はんだ付け」どちらの意味にも使える / 8画で「焊接」は機械・金属加工で頻用される
24. rabot / 刨 / 木工作業などで「かんなをかける」の専用字 / 4画とかなり少なく、意味が特化している
25. tremp / 浸 / 「浸す・漬ける」ニュアンス / 9画で、水や液体への“浸し”をイメージしやすい
26. implik / 缠 / 「絡ませる・巻きつける」→「もつれさせる」「巻き込む」イメージ / 9画(糸偏+延)で、からみつくニュアンスを的確に表せる

****rigl/锁/「錠をかける」「ロックする」イメージ/頻出字であり「鎖」の簡体字。日本人にも「鍵」「鎖」の連想で理解しやすい****

****kribr/筛/ふるいにかける/「篩(ふるい)」の簡体字。動詞「篩う」のイメージで分かりやすい****

****kned/揉/こねる・揉む/「揉面(生地をこねる)」などで使われる常用字。意味合いが直感的****

****draŝ/打/打穀する・殴打する/「打」は非常に汎用性が高く画数も少ない****

****absorb/吸/吸収する/「吸う」で馴染みがあり、画数も少ない常用字****

****vek/醒/目覚めさせる/「醒」は「覚醒」「清醒」の要素から「目が覚める」イメージ****

****konstern/惊/驚かす・仰天させる/簡体字で「惊」、日本語「驚」と対応し意味連想しやすい****

****inspir/激/インスピレーションを与える/「激発」「激励」などポジティブ寄りの感情・刺激を示せる****

****log/诱/誘惑・誘導する/「引诱」の略イメージ。誘惑・誘導の意味合いを含む常用字****

****tent/诱/誘惑する/上記 log と同じ字を使い回し。サブスク等で区別予定****

****incit/激/怒らせる・煽る/刺激・怒り・煽動を広く含むため「激」に集約****

****provok/激/挑発する/同上。挑発・刺激などのニュアンスを一括****

****instig/激/励ます/「激励」のイメージを持ち、「励ます」「奮い立たせる」意にも対応****

****stimul/激/刺激する/「刺激」「激発」などで広範な使い方が可能****

****ekscit/激/興奮させる/「興奮・激昂・激動」などのニュアンス****

****agit/激/煽動する/煽動・刺激全般を「激」に包含****

****est/ig##/令/～を引き起こす・～させる/「令(～させる)」は短画数で因果操作のイメージ****

****indukt/归/帰納する・まとめる/「归纳」(帰納)のイメージ。簡体字「归」は画数少なめ****

****abort/流产/流産する/１文字にこだわらず「流产」を採用。中国語で「流産」の定番表現****

****nask/生/子を産む/最も基本的な「生む」「生命」の字。画数少なく認知度高い****

****akuŝ/分娩/出産する/単字では表しづらいため「分娩」を使用****

****kultur/种/栽培する/「种植」「播种(まく)」などの「種をまく」イメージから****

****bred/养/飼育する/「饲养(飼育)」などに通じる「養」の簡体字。家畜等を育てるイメージ****

****nutr/养/養う/上記と同じ「养」を再利用し学習コスト低減****

****adopt/收养/養子にする/１文字だと意味が曖昧なため「收养」を採用（「收」は受容、「养」は育てる）****

****ĉikan/扰/ちょっかいを出す・難癖付ける/「騒擾」「干扰」など、邪魔・困らせるイメージ****

****fuŝ/失/やり損なう・失敗する/「失敗」「失誤」の「失」。画数が少なく汎用度高い****

rasp ****/**** 刮 ****/ 「削る・こする」の意味に近く、画数が比較的少ない / 「刮」は“こする”“削ぐ”を表し、中国語・日本語双方でそれなりに理解されやすい。****

1. kontuz / 伤 / 本来は「挫伤」(bruise)などが正確だが、単字で「負傷・損傷」を表す「伤」を流用 / 「伤」は6画でシンプル。厳密には「打撲」以外の傷も含むが、学習コストを抑えられる。
2. turment / 虐 / 「虐待」「折磨」を連想する字で、意味が分かりやすい / 単字としては動詞的にやや使いにくいが、「残酷・いじめ・痛めつける」など残虐行為のイメージを伝えやすい。9画。
3. atenc / 犯 / 「犯す・侵犯する」の意に近く、危害・暴行のニュアンスを持ちやすい / 5画と少なく、よく使われる字で汎用性も高い。
4. strik / 罢工 / 中国語でストライキを表す常用表現。単字「罢」だけだと「やめる」の意味が強いので2文字で正確に / 「罢」(5画) + 「工」(3画) = 8画相当だが、よく使われる熟語で認知度が高い。
5. bojkot / 抵制 / 「ボイコット」の標準的な中国語表現 / 「抵」(8画) + 「制」(6画) で合計14画。語としての認知度は高く、日本人も推測しやすい。
6. buĉ / 杀 / 本来「屠(8画)」も候補だが、「杀」を「殺す」全般で転用し、画数や種類を節約 / 6画で非常に常用。動物の屠殺含め広く「殺す」を表現できる。
7. murd / 杀 / 「殺害する」意味を同じ「杀」で共用 / 同上。事後的に上付き文字等で区別する予定。
8. paf / 射 / 「射撃する」「撃つ」の意味を直接表す常用字 / 10画だが、「发(5画)」だと「発射」含め意味が広すぎるので、正確性を優先。
9. bombard / 炮轰 / 「砲撃する」を示すわかりやすい熟語 / 「炮」(9画) + 「轰」(8画) = 17画。単字より正確性を優先。
10. paŝt / 牧 / 「放牧する」を1文字で端的に表せる / 8画。中国語・日本語の「牧場」「牧師」などとも関連し、意味連想しやすい。
11. dres / 驯 / 動物を「馴らす・調教する」イメージに合致 / 簡体の「驯」は7画で比較的シンプル。
12. klaft / 寻 / 古くは「尋(ひろ)」の意があり、「探す」の意味もあるが長さの単位として使われた字 / 6画でシンプル。日本語の「尋」と字形が近く、ある程度連想しやすい。
13. manĝ / 吃 / 「食べる」を表す最も基本的な動詞 / 6画で頻出字。「食」と比べ画数が少なく使いやすい。
14. fast / 斋 / 宗教的な「斎戒・断食」を表す際に用いる字 / 8画。「断食」とするよりも単字で済み、画数を節約できる。
15. digest / 消化 / 「消化する」を最も直接的に表す熟語 / 「消」(10画) + 「化」(4画) = 14画。単字では適切な対応が難しい。
16. dir / 说 / 「言う・しゃべる」の意味を持つ基本動詞 / 9画。頻出で汎用性が高い。
17. rakont / 讲 / 物語る・語る・説明する「讲(講)」が比較的近い / 本来「讲述」や「讲故事」などもあるが、1文字化優先のため単字を採用。9画前後。
18. esprim / 表达 / 「表現する」「表す」を正確に示す熟語 / 「表」(8画) + 「达」(6画) = 14画。単字だと誤解が生じやすいため2文字で。
19. prononc / 发音 / 「発音する」の標準的表現 / 「发」(5画) + 「音」(9画) = 14画。
20. dikt / 口述 / 「口述で言わせる」「口述筆記させる」に近い表現 / 「听写」も選択肢だが、「口述」のほうが直感的に“話す側の行為”を示す。3+8=11画程度。
21. predik / 传教 / 「説教する」「伝道する」を最も端的に示す / 「传」(6画) + 「教」(10画)=16画。「説教」(说教)もあるが、画数が増えがち。
22. deklam / 朗读 / 「朗読する」「はっきり読む」の標準語 / 「朗」(10画) + 「读」(10画)で20画だが、単字より適切。※「读」は「読」の簡体。
23. svat / 媒 / 媒酌・仲人などの「媒」の字を流用 / 12画とやや多めだが、標準的な“仲介する”含みがある。
24. iĝ / 成 / “～になる”をイメージしやすい代表的漢字 / 6画。日本語でも「成る」の感覚が近い。
25. ig / 使 / “～させる”“～を使役する”意味としてよく使われる / 8画で常用頻度が高く、把握しやすい。
26. kroz / 巡航 / 「巡回」「巡航」などのイメージで「巡航」を採用 / 「巡」(6画) + 「航」(10画) = 16画。単字「巡」や「航」ではやや意味不足を補う。